DataNature Smart シリーズ

# クライアント　操作マニュアル
# C00-03　クロス集計表画面

株式会社 NTTデータ NJK

・このソフトウェアの著作権は、株式会社 NTT データ NJK にあります。
・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されております。
・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
・このマニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社 NTT データ NJK の登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

Copyright © NTT DATA NJK Corporation

R10P1-092918　4.0.0

# CONTENTS

**マニュアルの表記** ..... **C00-03_0**

**1.クロス集計について** ..... **C00-03_1**

**2.表組み画面** ..... **C00-03_2**

2-1　基本操作 ..... C00-03_3

2-2　特殊な画面構成要素 ..... C00-03_5

◆期間日付の設定 ..... C00-03_5

◆階層項目の設定 ..... C00-03_6

◆計算式の追加 ..... C00-03_7

2-3　予測値設定画面 ..... C00-03_8

**3.クロス集計表画面** ..... **C00-03_10**

3-1　画面について ..... C00-03_11

集計表の「デザイン設定」について ..... C00-03_13

3-2　主な機能 ..... C00-03_14

◆データセレクター ..... C00-03_14

◆条件集約 ..... C00-03_17

◆対比計算 ..... C00-03_18

◆条件付き書式 ..... C00-03_20

◆ランキング（順位） ..... C00-03_22

◆参照項目設定 ..... C00-03_24

◆印刷/データ出力 ..... C00-03_25

# マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール
DataNature Smart クライアント :DN クライアント
DataNature Smart Personal :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は［］で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは＜＞で囲んで表記します。

【例】
[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス
<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン

“注意”を意味します。
知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。

“ポイント”を意味します。
操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。

“参考”を意味します。
知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。

“参照”を意味します。
操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

◆ マニュアルで使用している画像について

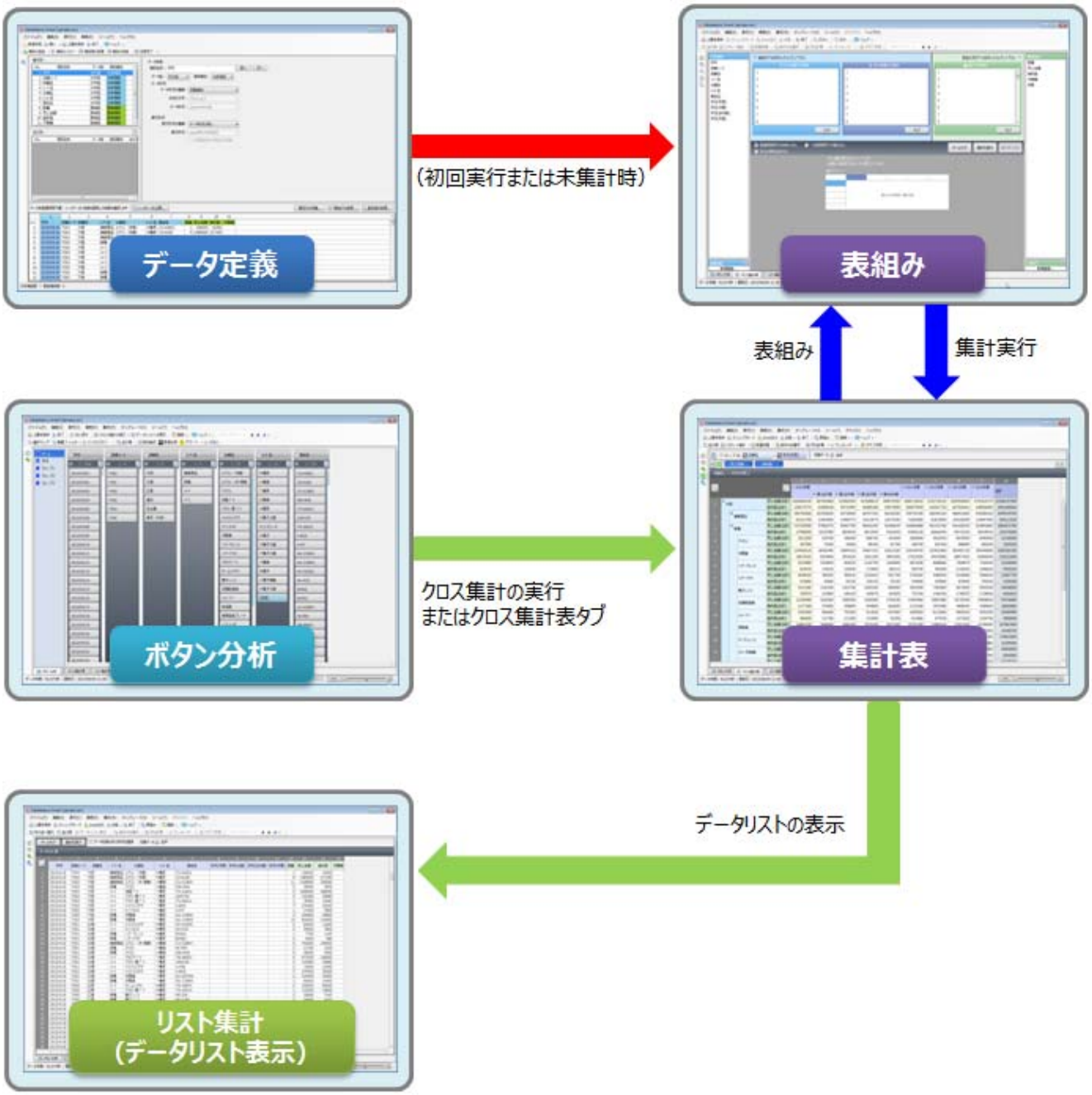
マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

◆ 機能について

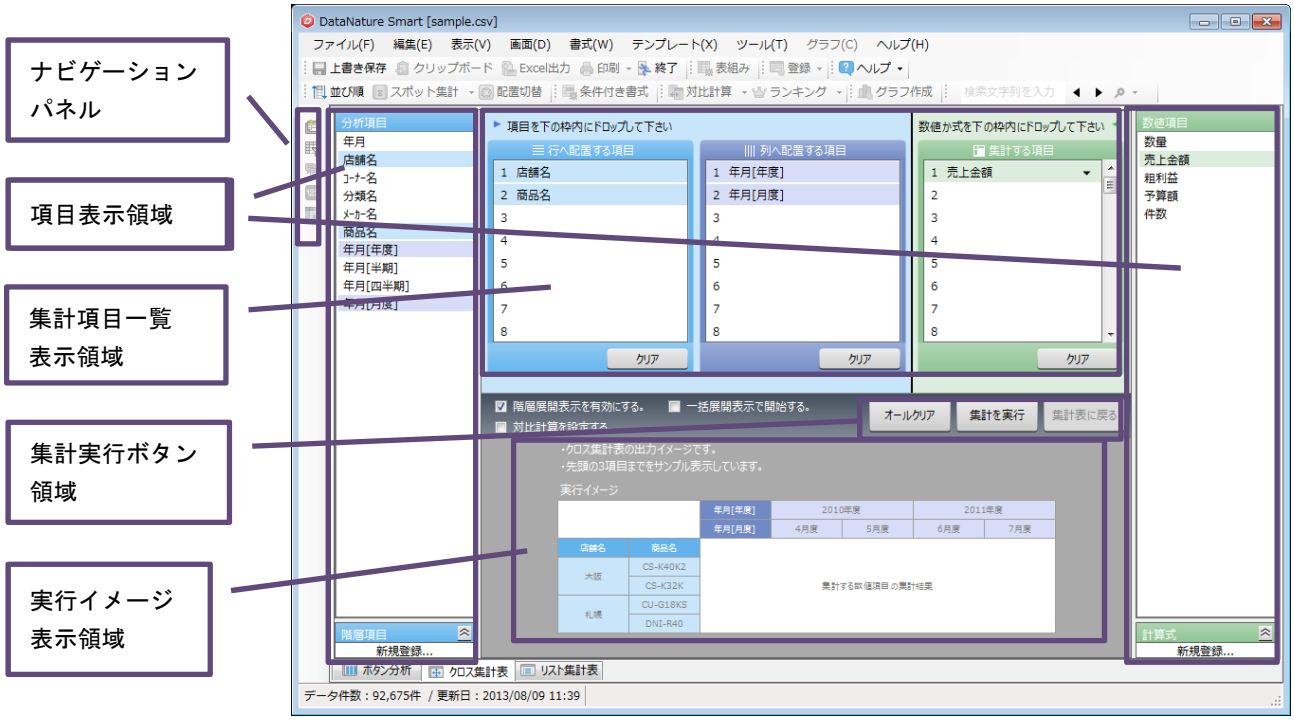
導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

# 1. クロス集計について

クロス集計表は、集計表の構成要素を組み立てる「表組み」、集計した結果を表示する「集計表」の、2 つの画面で構成されています。
画面の遷移は次の通りです。



# 2. 表組み画面




表組み画面は、次の要素で構成されています。

## ■　ナビゲーションパネル

画面操作をサポートする機能アイコンが並んでいます。クロス集計画面の表組みでは、「テンプレート一覧」と「データセレクター」を利用できます。

## ■　項目表示領域

集計表の構成要素となる「分析項目」、「階層項目」の一覧が左端に、「数値項目」、「計算式」の一覧が右端に表示されます。これらの中から集計表にしたい項目を集計項目一覧表示領域にドラッグ＆ドロップして表を組み立てます。

## ■　集計項目一覧表示領域

[行へ配置する項目]、[列へ配置する項目]、[集計する項目]があります。項目表示領域からドラッグ＆ドロップした項目を表示します。

## ■　集計実行ボタン領域

集計の実行や表示のクリアを行います。

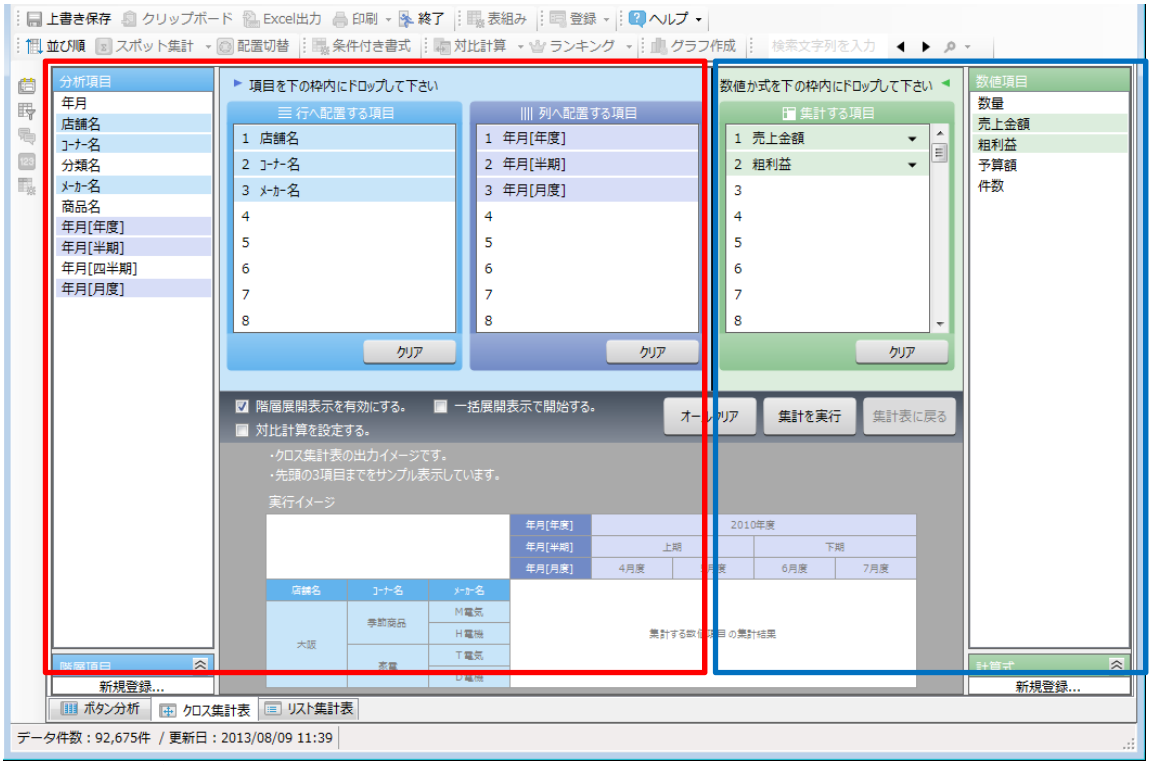
## ■　実行イメージ表示領域

集計項目一覧表示領域の内容を基に、集計表イメージを最大 3 階層まで表示します。参照のみで操作はできません。

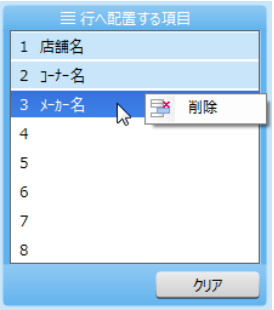
## 2-1 基本操作

データ定義画面のツールバー[定義完了]のドロップダウンリストから[クロス集計]を選択した場合には、この表組み画面で集計表の構成要素（行/列項目、集計項目）を組み立てます。また、クロス集計表から表組み画面に戻って、構成要素を変更することもできます。

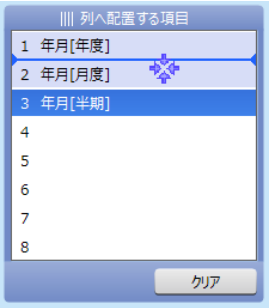
1. [分析項目]や[階層項目]一覧から、集計表の行/列に配置する項目を[行へ配置する項目]、もしくは[列へ配置する項目]にドラッグ＆ドロップします。それぞれの 2 つ以上の項目を設定すると、ドリルダウン分析のための階層になります。行/列ともに最大 8 項目（階層）まで設定できます。
2. [数値項目]や[計算式]一覧から、集計に用いる数値項目を[集計する項目]にドラッグ＆ドロップします。最大 64 項目まで設定できます。



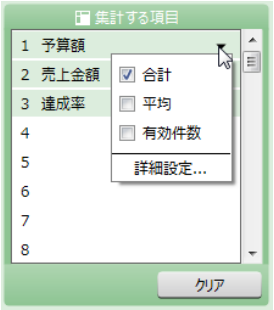

**＜集計項目一覧表示領域＞**




■項目を対象から外す
項目上で右クリックして[削除]するか、元の一覧へドラッグ＆ドロップして戻します。一括で外す場合は[クリア]ボタンをクリックします。

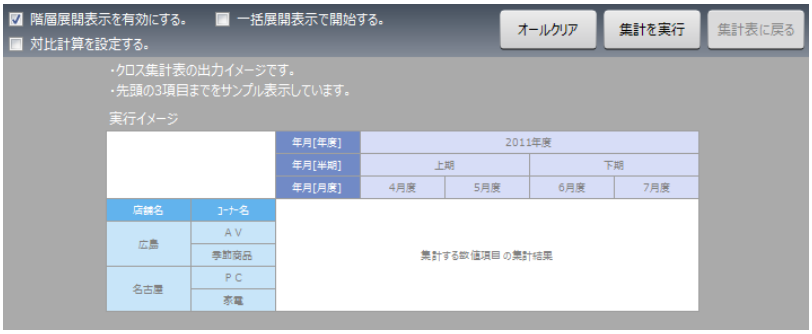



■項目の並び順を変更する
対象項目をドラッグして、配置する位置に青線が表示されたらドロップします。



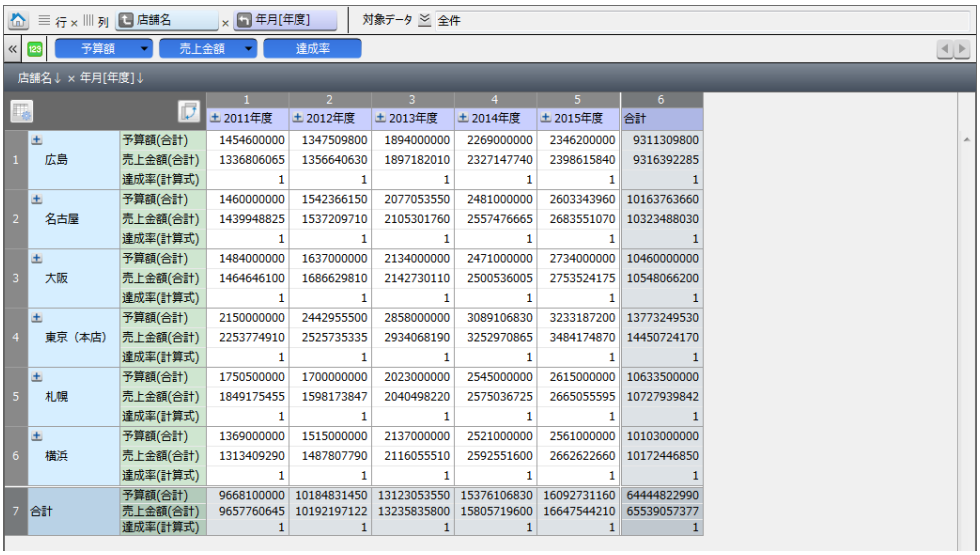

■集計方法の設定
数値項目の横に表示される[▼]ドロップダウンリストから、集計方法を設定できます。
※クロス集計表画面に移った後に調整することもできます。

3 実行イメージ表示領域で、行/列に指定した項目の 3 項目までのイメージを確認できます。




4 表組みの設定が完了したら、[集計を実行]ボタンをクリックします。

▼集計表が実行されて、クロス集計表画面に遷移します。




| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 2011年度 | 2012年度 | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 合計 |
| 1 | 広島 | 予算額(合計) | 1454600000 | 1347509800 | 1894000000 | 2269000000 | 2346200000 | 9311309800 |
| | | 売上金額(合計) | 1336806065 | 1356640630 | 1897182010 | 2327147740 | 2398615840 | 9316392285 |
| | | 達成率(計算式) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 2 | 名古屋 | 予算額(合計) | 1460000000 | 1542366150 | 2077053550 | 2481000000 | 2603343960 | 10163763660 |
| | | 売上金額(合計) | 1439948825 | 1537209710 | 2105301760 | 2557476665 | 2683551070 | 10323488030 |
| | | 達成率(計算式) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 3 | 大阪 | 予算額(合計) | 1484000000 | 1637000000 | 2134000000 | 2471000000 | 2734000000 | 10460000000 |
| | | 売上金額(合計) | 1464646100 | 1686629810 | 2142730110 | 2500536005 | 2753524175 | 10548066200 |
| | | 達成率(計算式) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 4 | 東京（本店） | 予算額(合計) | 2150000000 | 2442955500 | 2858000000 | 3089106830 | 3233187200 | 13773249530 |
| | | 売上金額(合計) | 2253774910 | 2525735335 | 2934068190 | 3252970865 | 3484174870 | 14450724170 |
| | | 達成率(計算式) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 5 | 札幌 | 予算額(合計) | 1750500000 | 1700000000 | 2023000000 | 2545000000 | 2615000000 | 10633500000 |
| | | 売上金額(合計) | 1849175455 | 1598173847 | 2040498220 | 2575036725 | 2665055595 | 10727939842 |
| | | 達成率(計算式) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 6 | 横浜 | 予算額(合計) | 1369000000 | 1515000000 | 2137000000 | 2521000000 | 2561000000 | 10103000000 |
| | | 売上金額(合計) | 1313409290 | 1487807790 | 2116055510 | 2592551600 | 2662622660 | 10172446850 |
| | | 達成率(計算式) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 7 | 合計 | 予算額(合計) | 9668100000 | 10184831450 | 13123053550 | 15376106830 | 16092731160 | 64444822990 |
| | | 売上金額(合計) | 9657760645 | 10192197122 | 13235835800 | 15805719600 | 16647544210 | 65539057377 |
| | | 達成率(計算式) | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |

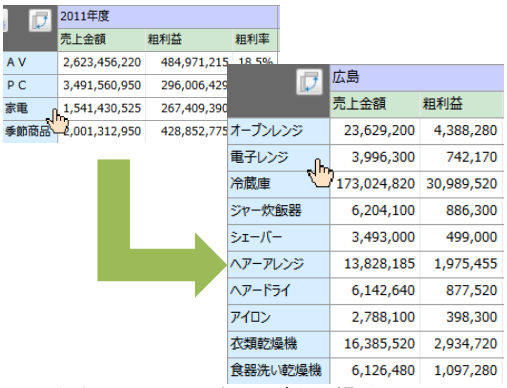
複数階層を指定する際、階層展開表示を有効にするか無効にするかを、実行イメージ表示領域にある「□階層展開表示を有効にする。」のチェックのオン/オフで切り替えできます。
階層展開表示を無効にして集計表を実行すると、行/列項目のデータ名左上の[+]アイコンは表示されなくなります。
（項目名をクリックすることでドリルダウン操作は行えます。）

【階層展開表示を有効にした場合】

| | | 1 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 2011年度 | | | 2012年度 |
| | | 売上金額 | 粗利益 | 粗利率 | 売上金額 |
| 1 | AV | 2,623,456,220 | 484,971,215 | 18.5% | 3,257,069,030 |
| 2 | PC | 3,491,560,950 | 296,006,429 | 8.5% | 3,109,280,682 |
| 3 | 家電 | 1,541,430,525 | 267,409,390 | 17.3% | 1,814,162,910 |
| 4 | オーブンレンジ | 170,267,300 | 31,621,070 | 18.6% | 194,588,800 |
| 5 | 電子レンジ | 27,183,450 | 5,048,355 | 18.6% | 30,859,500 |
| 6 | 冷蔵庫 | 942,785,140 | 168,857,040 | 17.9% | 1,117,529,180 |
| 7 | ジャー炊飯器 | 43,505,350 | 6,215,050 | 14.3% | 47,329,100 |
| 8 | シェーバー | 24,755,360 | 3,536,480 | 14.3% | 31,968,440 |
| 9 | ヘアーアレンジ | 38,390,065 | 5,484,295 | 14.3% | 48,030,920 |
| 10 | ヘアードライ | 27,188,070 | 3,884,010 | 14.3% | 31,586,730 |
| 11 | アイロン | 18,052,650 | 2,578,950 | 14.3% | 26,193,300 |
| 12 | 衣類乾燥機 | 85,439,740 | 15,302,640 | 17.9% | 103,919,680 |

[+]アイコンで展開表示

【階層展開表示を無効にした場合】




項目名をクリックしてドリルダウン操作

操作の詳細は、C00-03_10「3-1　画面について」の「⑤行項目、列項目表示領域」をご覧ください。

## 2-2 特殊な画面構成要素

表組み画面でクロス集計表の構成要素を組み立てます。

構成要素一覧

| | |
|---|---|
| 分析項目 | 文字属性の項目を一覧表示します。【例】店舗名・商品名 |
| | 自動日付/自動時間項目：<br>データファイルの日付型/時間型データを基に日付期間項目や時間項目を自動生成して表示します。【例】年度・半期・四半期・時・分・AM/PM<br>※なお、[表示]-[日付オプションの設定]で表示される[日付オプションの設定]ダイアログボックスの[自動日付/時間項目]タブで、自動日付/時間項目を一覧に表示するかどうか、表示する場合の種類を設定できます。 |
| | 期間日付項目：<br>C00-03_5 「◆期間日付の設定」を参照ください。 |
| 階層項目 | C00-03_6 「◆階層項目の設定」を参照ください。 |
| 数値項目 | 数値属性の項目を一覧表示します。【例】売上金額・数量 |
| 計算式 | C00-03_7 「◆計算式の追加」を参照ください。 |

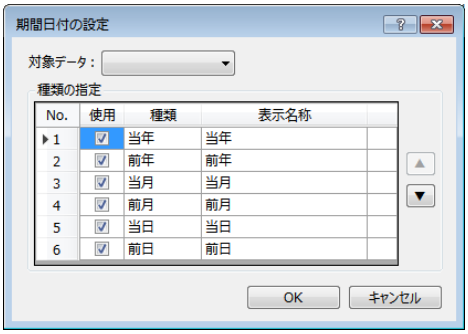
### ◆ 期間日付の設定

システム日付を基に、当年/当月/当日などの集計期間を＜期間日付＞として準備します。設定は、クロス集計表画面の表組み画面でのみ行えます。

【例】期間日付を利用した集計表のイメージ

| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 当日 | 当月 | 前月 | 当年 | 合計 |
| 1 | 広島 | 13,202,310 | 218,836,870 | 183,339,195 | 2,398,615,840 | 2,813,994,215 |
| 2 | 名古屋 | 13,104,760 | 231,272,100 | 210,601,300 | 2,683,551,070 | 3,138,529,230 |

1. メニューバー[ツール]-[期間日付の設定]をクリックします。
   ▼[期間日付の設定]ダイアログボックスが表示されます。

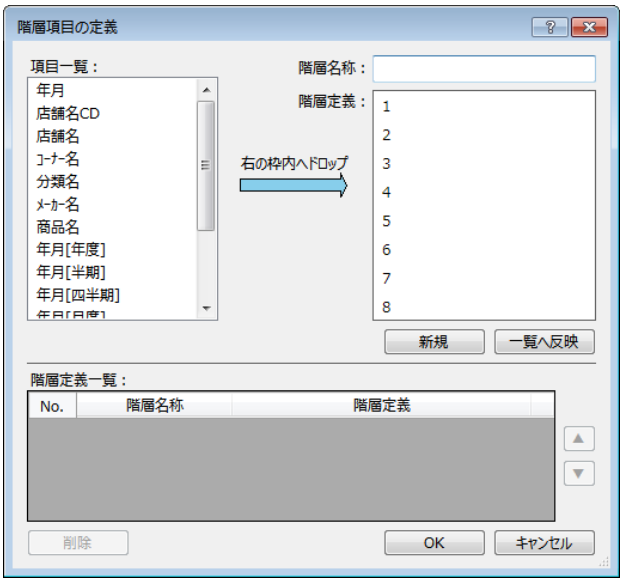



2. [対象データ:]のドロップダウンリストから、期間日付として利用したい分析項目（日付型）を選択します。
3. [種類の指定]にて、集計表に表示させたい項目の[使用]列のをチェックオンします。[表示名称]で、任意の名称を入力できます。表示させる項目の並び順は、右横の[▲]、[▼]ボタンを利用して変更することができます。
4. [OK]ボタンをクリックします。
   ▼[分析項目]に＜期間日付＞（名称固定）として表示されます。（この項目はひとつだけ作成できます）

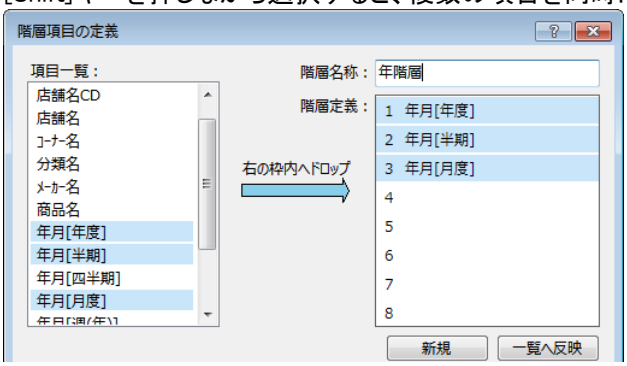
## ◆ 階層項目の設定

ドリルダウン分析のニーズに合わせて、使用頻度の高い階層構造を定義し、表の構成要素の一つとして登録しておきます。

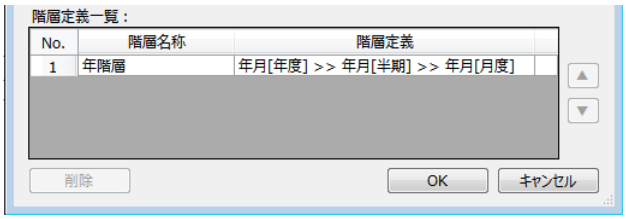
1. [階層項目]一覧の[新規登録]ボタンをクリックします。
   ▼[階層項目の定義]ダイアログボックスが表示されます。



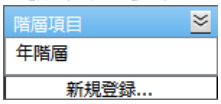

2. [階層名称：]欄に、任意の名称を入力します。
3. [項目一覧：]欄から、階層にする項目を選択して、[階層定義：]欄にドラッグ＆ドロップします。[Ctrl]キーや[Shift]キーを押しながら選択すると、複数の項目を同時に選択できます。最大 8 階層まで設定できます。




4. [一覧へ反映]ボタンをクリックします。
   ▼[階層定義一覧：]に内容が表示されます。




5. [OK]ボタンをクリックします。
   ▼[階層項目]に設定した階層名称が表示されます。

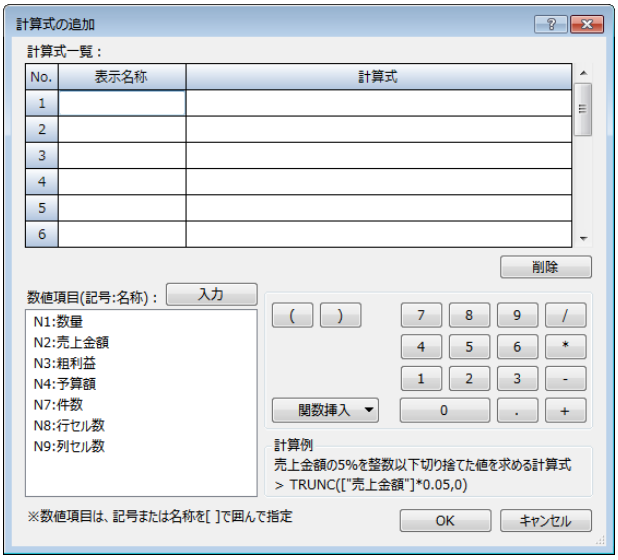


## ◆ 計算式の追加

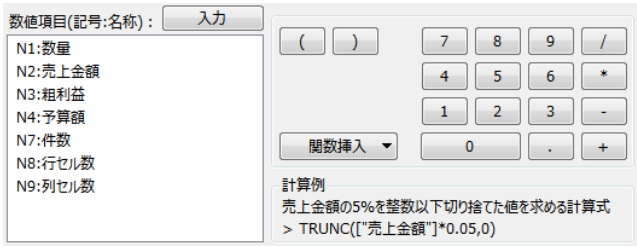
数値項目を四則計算等で計算し、その結果を新しい数値項目として追加します。最大 16 個まで追加できます。

1. [計算式]一覧の[新規登録]ボタンをクリックします。

▼[計算式の追加]ダイアログボックスが表示されます。

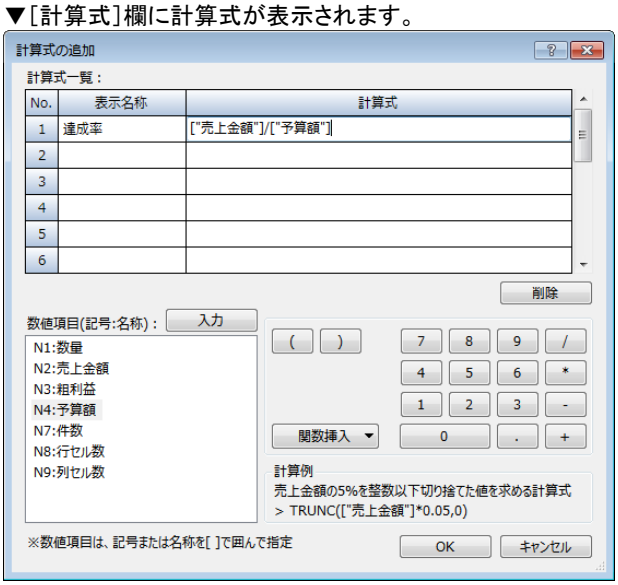



2. [表示名称]欄に、任意の名称を入力します。
3. [計算式]欄に、計算式を入力します。




■計算式に利用できる数値項目（記号や項目名称）
■優先演算子（括弧）
■組み込み関数
■テンキー（数字）
■四則演算子
これらを利用して計算式を設定します。

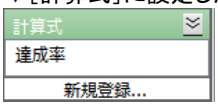
▼[計算式]欄に計算式が表示されます。




[計算式の追加]は集計表画面でも設定できます。但し、集計表画面で追加した計算式は、集計表に表示する操作が必要です。（メニューバー[表示]-[集計数値の表示設定]）

4. [OK]ボタンをクリックします。

▼[計算式]に設定した表示名称が表示されます。



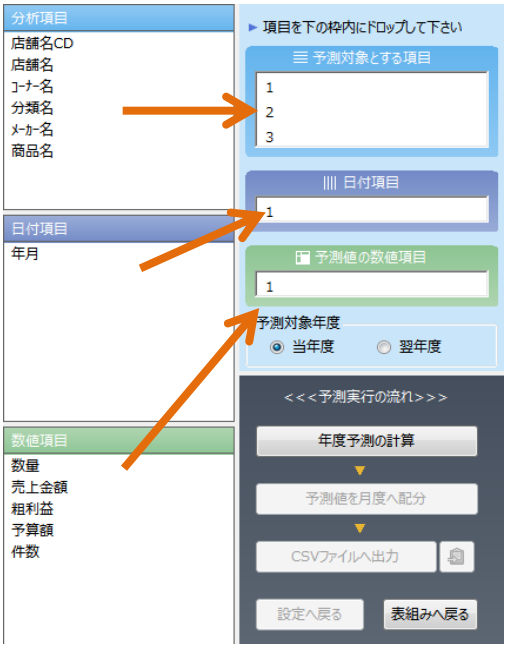
## 2-3 予測値設定画面

年度単位の実績データから、当年度（システム日付の年度）、または翌年度の予測値を計算します。

設定時には、直近の過去 3 年（最大 5 年）の実績データが必要です。
予測値を表示する機能のため、この表示画面はテンプレートとして登録はできません。

1. メニューバー[ツール]-[予測]をクリックします。（予測値設定画面の呼び出しはここからのみです。）

▼予測値設定画面が表示されます。




[日付項目]一覧に表示される項目は、自動日付項目で[年度]、または[年度]と[月度]の両方が揃っている日付データが対象となります。

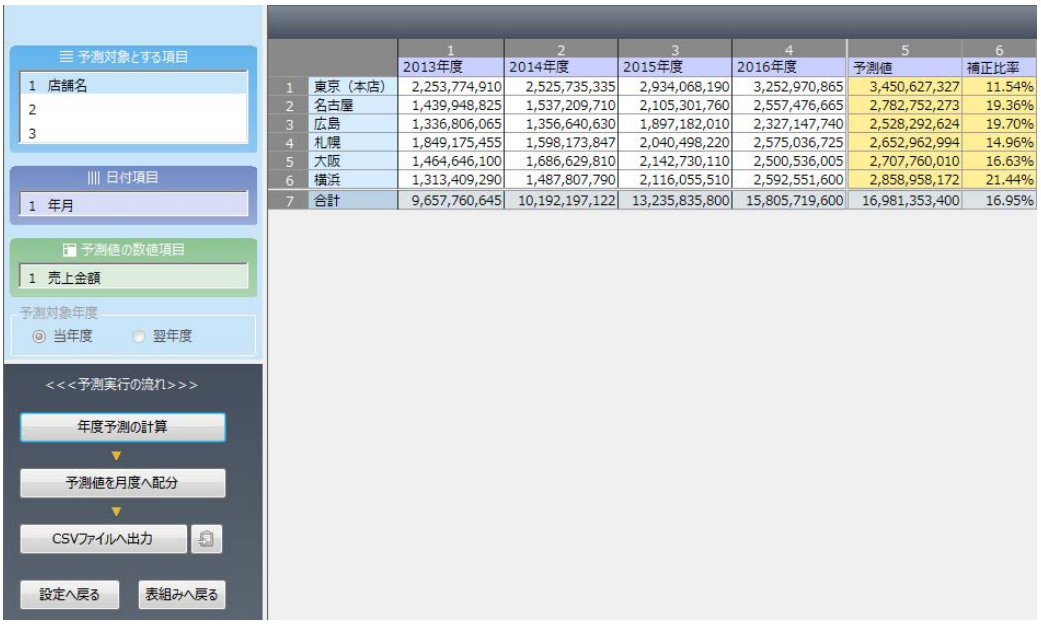
2. [分析項目]、[日付項目]、[数値項目]一覧から、配置する項目をそれぞれ[予測対象とする項目]、[日付項目]、[予測値の数値項目]欄に、ドラッグ＆ドロップします。[分析項目]は、3 階層まで配置できます。

3. [予測対象年度]は、[当年度]か[翌年度]のどちらかを指定します。ここでは[当年度]を指定します。

▼予想対象の設定が表示されます。

4. <<予測実行の流れ>>の[年度予測の計算]ボタンをクリックします。

▼年度予測の計算結果が表示されます。




| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 予測値 | 補正比率 |
| 1 | 東京（本店） | 2,253,774,910 | 2,525,735,335 | 2,934,068,190 | 3,252,970,865 | 3,450,627,327 | 11.54% |
| 2 | 名古屋 | 1,439,948,825 | 1,537,209,710 | 2,105,301,760 | 2,557,476,665 | 2,782,752,273 | 19.36% |
| 3 | 広島 | 1,336,806,065 | 1,356,640,630 | 1,897,182,010 | 2,327,147,740 | 2,528,292,624 | 19.70% |
| 4 | 札幌 | 1,849,175,455 | 1,598,173,847 | 2,040,498,220 | 2,575,036,725 | 2,652,962,994 | 14.96% |
| 5 | 大阪 | 1,464,646,100 | 1,686,629,810 | 2,142,730,110 | 2,500,536,005 | 2,707,760,010 | 16.63% |
| 6 | 横浜 | 1,313,409,290 | 1,487,807,790 | 2,116,055,510 | 2,592,551,600 | 2,858,958,172 | 21.44% |
| 7 | 合計 | 9,657,760,645 | 10,192,197,122 | 13,235,835,800 | 15,805,719,600 | 16,981,353,400 | 16.95% |

5 セルの背景色が黄色部分の[予測値]と[補正比率]は、直接入力が可能です。

表示される[予測値]、[補正比率]の算出方法はヘルプの＜メモ＞覧を参照してください。

表示された年度の予測値を各月度へ配分して表示することができます。また、最終的な予測値データを CSV ファイルへ出力することもできます。

**【予測値を月度へ配分】ボタン**

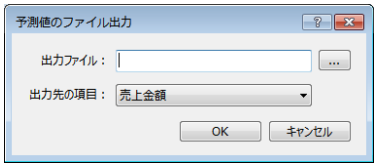
[予測値の数値項目]で指定した日付項目が[月度]を持っている場合に利用できます。

| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 13 | 14 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 予測値 | 補正比率 |
| 1 | 東京（本店） | 304,145,250 | 293,355,809 | 314,035,260 | 265,686,127 | 289,879,7 | 3,450,627,327 | 11.54% |
| 2 | 名古屋 | 251,486,190 | 226,512,353 | 258,348,552 | 229,717,651 | 229,289,9 | 2,782,752,273 | 19.36% |
| 3 | 広島 | 216,650,706 | 210,002,039 | 224,203,376 | 210,537,313 | 211,103,5 | 2,528,292,624 | 19.70% |
| 4 | 札幌 | 250,484,630 | 210,331,847 | 247,155,676 | 203,004,435 | 217,571,5 | 2,652,962,994 | 14.96% |
| 5 | 大阪 | 246,571,188 | 218,523,926 | 253,358,979 | 213,055,459 | 217,496,4 | 2,707,760,010 | 16.63% |
| 6 | 横浜 | 251,163,192 | 214,835,161 | 266,407,180 | 217,803,968 | 237,581,2 | 2,858,958,172 | 21.44% |
| 7 | 合計 | 1,520,501,155 | 1,373,561,135 | 1,563,509,023 | 1,339,804,952 | 1,402,922,6 | 16,981,353,400 | 16.95% |

**【CSV ファイルへの出力】ボタン**

表示中の予測値データを CSV ファイルに出力します。

このファイルを追加読み込みさせて、集計表で利用することもできます。




出力ファイル：　保存先フォルダーとファイル名を指定します。

出力先の項目：　作成した予測値データを既存の項目データに追加するか、新規項目として追加するかを選択します。

**【クリップボード】ボタン**

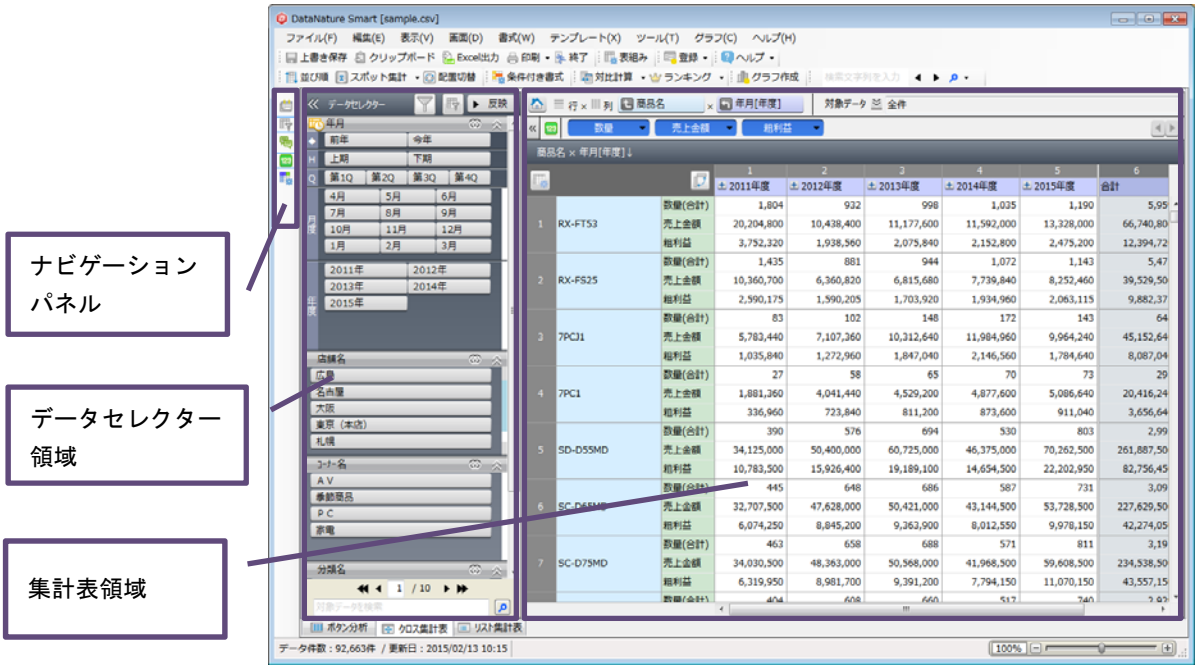
表示中の予測値データをクリップボードへコピーします。

（右図：Excel へ貼り付けた結果）

| | A | B | C | D | E | F | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
| 2 | 東京(本店) | 304,145,250 | 293,355,809 | 314,035,260 | 265,686,127 | 289,879,785 | 254, |
| 3 | 名古屋 | 251,486,190 | 226,512,353 | 258,348,552 | 229,717,651 | 229,289,983 | 194, |
| 4 | 広島 | 216,650,706 | 210,002,039 | 224,203,376 | 210,537,313 | 211,103,542 | 192, |
| 5 | 札幌 | 250,484,630 | 210,331,847 | 247,155,676 | 203,004,435 | 217,571,560 | 180, |
| 6 | 大阪 | 246,571,188 | 218,523,926 | 253,358,979 | 213,055,459 | 217,496,483 | 204, |
| 7 | 横浜 | 251,163,192 | 214,835,161 | 266,407,180 | 217,803,968 | 237,581,295 | 218, |
| 8 | 合計 | 1,520,501,155 | 1,373,561,135 | 1,563,509,023 | 1,339,804,952 | 1,402,922,647 | 1,244, |

6 予測値の確認が完了すれば、[表組みへ戻る]ボタンをクリックします。
（予測値設定画面の終了はこの方法のみです。）

# 3. クロス集計表画面




クロス集計表画面は、次の要素で構成されています。

## ナビゲーションパネル

画面操作をサポートする機能アイコンが並んでいます。クロス集計画面の集計表では、「テンプレート一覧」「データセレクター」「コメント」「集計数値の表示設定」「デザイン設定」を利用できます。

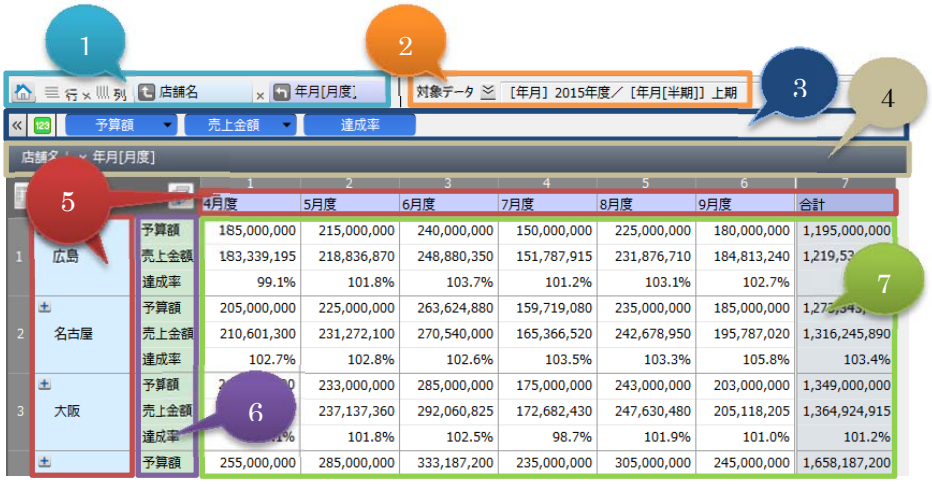
## データセレクター領域

集計表の集計対象データを絞り込むための簡易ボタン画面を設定し、選択したボタンで再集計を行います。また、条件式を設定し、集計表の対象レコードを絞り込むことができます。

## 集計表領域

クロス集計表を表示します。

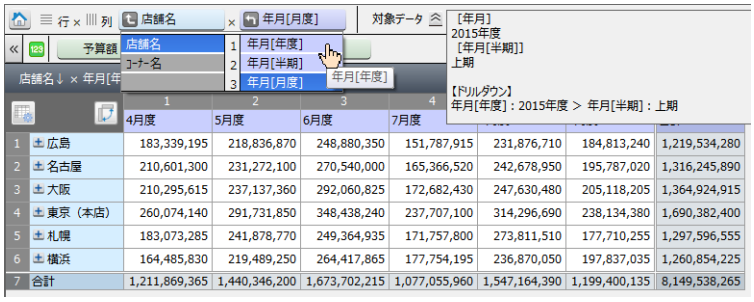
## 3-1 画面について




①構成表示領域
②対象データ表示領域
③集計数値表示領域
④表題領域/単位表示領域
⑤行項目、列項目表示領域
⑥集計項目表示領域
⑦集計値表示領域、合計欄

**①構成表示領域**

クロス集計表の行/列の項目名称⑤を表示します。階層付きクロス集計表では、ドロップダウンリストで階層項目を表示し、ドリルアップ操作することもできます。

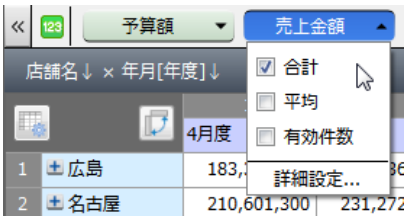



**②対象データ表示領域**

集計対象データを表示します。 情報が多い場合は ボタンをクリックすることで表示領域が広がります。

**③集計数値表示領域**

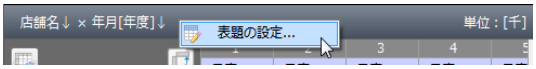
集計項目表示領域⑥に表示される数値項目をボタンで表示します。
選択時（青色）は集計表に表示され、解除時（薄緑色）は集計表から表示が消えます。
数値項目の[▼]ドロップダウンリストから、集計方法を追加・変更できます。
[詳細設定]をクリックして、その他の集計方法を指定することもできます。



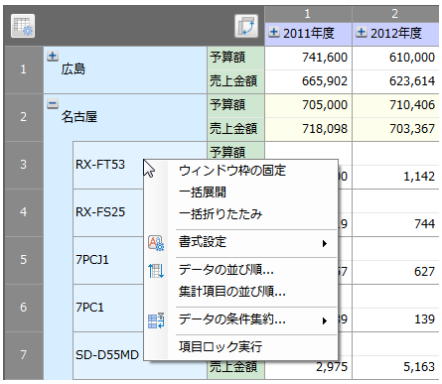

この領域③に表示されていない数値項目を追加する場合は、左側の[123]アイコンをクリックし、[集計数値の表示設定]ダイアログボックスで、「表示する対象データ」を設定します。
左端の[<<]ボタンをクリックすると、この領域③を非表示にします。再表示する場合は、ナビゲーションパネルにある[123]アイコンをクリックします。

**④表題領域/単位表示領域**

表題が表示されます。この領域④で右クリックして表示される[表題の設定]ダイアログボックスで任意の表題を設定できます（メニューバー[書式]-[表題の設定]）。
＜今月＞＜今日＞といった定義をおこなうと、システム日付から該当日付に変換して表題に表示できます。
数値項目の単位調整を行っている場合は、右端に単位が表示されます。



## ⑤行項目、列項目表示領域




行項目（水色）と列項目（薄紫色）を表示します。
階層付きの集計表で階層展開表示が有効な場合は、行/列項目のデータ名左上の[+]アイコンをクリックすると階層が 1 項目ずつ展開され、[-]アイコンをクリックすると階層が 1 項目ずつ折りたたまれます。
右クリックして表示されるコンテキストメニューから「一括展開」や「一括折りたたみ」（最大 3 階層まで）が行えます。また、[データの並び順]から行や列項目データの並び順を変更できます。（階層展開表示が無効の場合は、項目名をクリックすることでドリルダウン操作が行えます。また「一括展開」や「一括折りたたみ」は利用できません。）

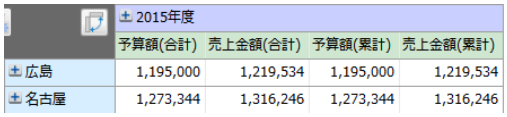
[表組み]アイコンをクリックすると、表組み画面に遷移します。

[行列切替]アイコンをクリックすると、行/列項目を入れ替えます。

## ⑥集計項目表示領域

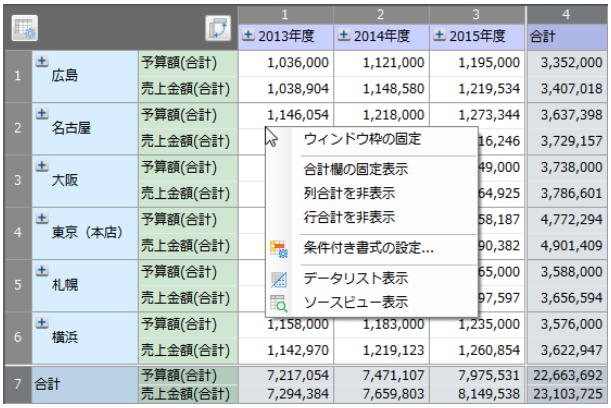
数値項目と集計方法を組み合わせた“集計項目”（緑色）を表示します。例えば、売上金額の合計だけを集計するような数値項目と集計方法がひとつずつの場合はこの領域⑥が表示されません。
右クリックして表示されるコンテキストメニュー[集計項目の並び順]から“集計項目”の並び順を変更できます。また、[書式設定]-[数値の表示書式]から、集計項目の集計結果を表示する際の書式を設定できます。

ツールバーの[配置切替]アイコンをクリックする毎に、”集計項目”を縦並びから横並びに、集計方法が複数の場合は数値項目と集計方法を分離して表示するように配置を切り替えることができます。



また、右クリックして表示されるコンテキストメニュー[書式設定]-[文字の表示書式]から、領域⑤（行/列項目）と領域⑥（集計項目）のフォントなどの書式を設定できます。

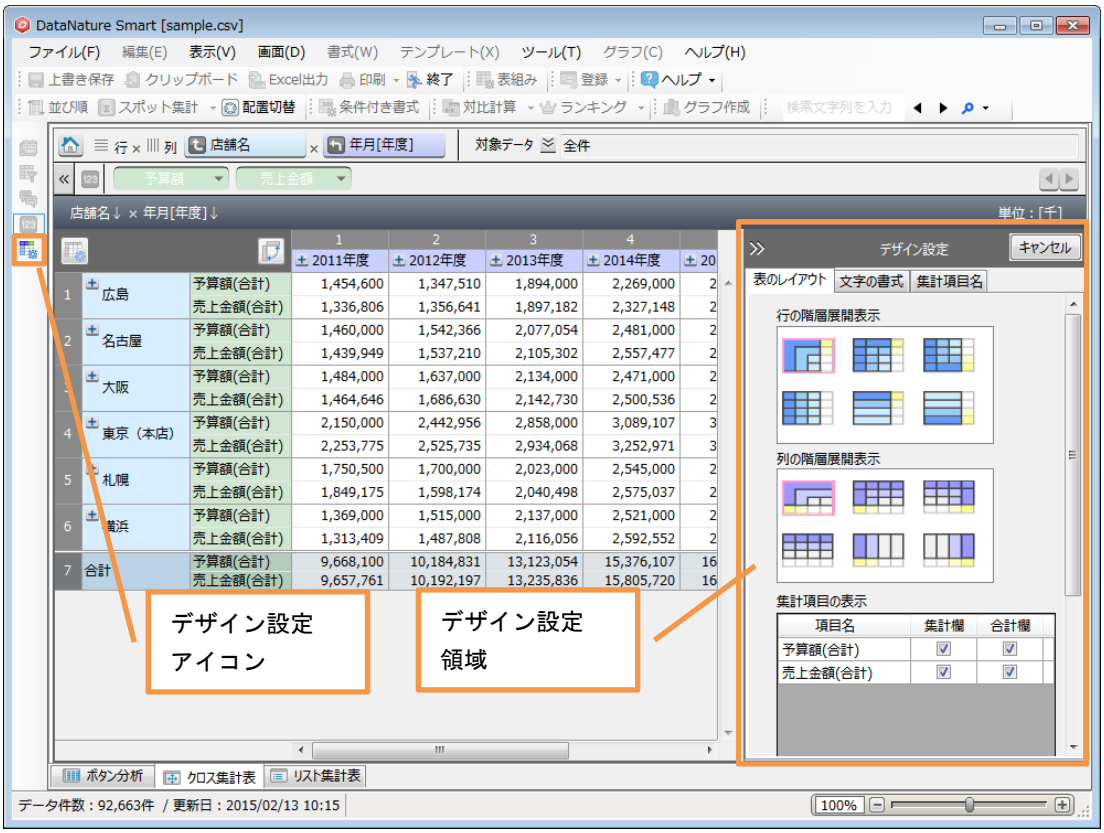
## ⑦集計値表示領域、合計欄




集計値と行列の合計を表示します。
右クリックして表示されるコンテキストメニューから[合計欄の固定表示/固定表示解除]、[列合計の表示/非表示]、[行合計の表示/非表示]が行えます。
固定表示したい集計値セルで、[ウィンドウ枠の固定]をクリックすると、そのセルを起点に上側と左側を固定表示します。
[条件付き書式の設定]では、設定した条件に該当するセルを指定した書式で強調表示します。設定方法は、C00-03_20「◆条件付き書式」を参照ください。
[データリスト表示]では表示中の集計表を構成しているレコードを表示できます。また、[ソースビュー表示]ではメニュー実行時に対象となっていたセルに関連付くレコード情報を 100 件までポップアップ表示します。更に、ソースビューの対象データ全件を CSV ファイルへ出力し、そのまま DN クライアントで開くことも可能です。

**集計表の「デザイン設定」について**

メニューバー[表示]-[デザイン設定](または、ナビゲーションパネルの[デザイン設定]アイコン)をクリックすると、集計表のデザイン設定を行う領域が、画面右側に表示されます。クロス集計表のレイアウトや書式に関連する情報を、タブを切り替えて設定します。
なお、設定した内容を初期値に戻す場合は、各タブの下方にある[初期値に戻す]ボタンをクリックし、設定をやめる場合は、デザイン設定領域右上にある[キャンセル]ボタンをクリックします。
各設定を確定する場合は、デザイン設定領域左上にある[>>]ボタン、または、ナビゲーションパネルの[デザイン設定]アイコンをクリックします。




[表のレイアウト]タブ

行/列の階層展開の表示方法や合計欄の表示等を設定します。

| | | |
|---|---|---|
| 行の階層展開表示/列の階層展開表示 | ： | 階層を展開表示する際の表示パターンを 6 種類(標準/親階層を小計として前に表示/親階層を小計として後ろに表示/親階層集計値を隠す/親階層を前に配置(親子並列)/親階層を後ろに配置(親子並列))から選択します。選択したパターンは、ピンク色の枠で表示されます。 |
| 集計項目の表示 | ： | 集計項目が複数ある場合、集計欄と合計欄で表示/非表示をそれぞれ設定できます。表示したい項目をチェックオンしてください。 |
| 行の合計欄表示/列の合計欄表示 | ： | 行/列の合計欄の表示について、3 種類(表示/非表示/常に表示)から選択します。 |
| 列幅の自動調整 | ： | 列幅を、その列で一番長い文字列に合わせて自動調整するかどうかを ON/OFF で指定します。 |
| 行合計の配置/列合計の配置 | ： | 行/列の合計欄の表示位置を 2 種類(末尾に配置/先頭に配置)から選択します。 |

[文字の書式]タブ

集計表のフォントや背景色などを設定します。対象となる領域は行項目/列項目/集計項目/集計値で、各領域に合わせて、フォント/サイズ/背景色/横配置/縦配置/文字の制御/合計行背景色が設定できます。

[集計項目名]タブ
集計項目や合計欄に表示する名称を設定します。

集計項目一覧　：　集計項目の名称を設定します。表示名称欄に、表示したい内容を入力します。

行の合計欄名称/列の合計欄名称　：　行/列の合計欄（小計/合計）の名称を設定します。合計名称欄に、表示したい内容を入力します。空欄にした場合は「合計」と表示されます。また、引用欄をチェックオンすると、合計名称の前に、対象となるデータの名称を付与して表示されます。なお、総合計の「引用」は使用できません。

[対比計算]タブ
対比計算実行中に表示されます。対比表の集計項目名や配置切替の設定を行います。

対比対象名に固定名称を使用する　：　「固定名称」欄に入力した名称を対比対象名として使用します。

対比対象名に集計項目名を使用する　：　対比対象名の前に、「売上金額（合計）」などの集計項目名を付与します。なお、「集計項目との区切り文字」欄に入力した文字を、集計項目名と対比対象名の区切り文字として使用できます。空欄の場合は、「:」が使用されます。

対比表専用の配置へ切り替える　：　[配置切替]アイコンをクリックして集計欄の配置を切り替える際、数値項目と集計方法を行列に分けて配置するパターンが選択できるようになります。

## 3-2 主な機能

クロス集計表画面で行える主な機能について紹介します。

| | |
|---|---|
| デーセレクター | 集計対象データを絞り込むための簡易ボタン画面を設定し、選択したボタンで再集計します。また、条件式を設定し、集計表の対象レコードを絞り込むことができます。 |
| 条件集約 | 任意の条件に一致するデータを集約して表示します。 |
| 対比計算 | データの対比が行えるように差異や比率を計算して表示します。 |
| 条件付き書式 | 設定した条件に該当するセルを、指定した書式で強調表示します。 |
| ランキング | 集計結果（集計値）を昇順または降順で並べたときの順位を、新たな数値項目列として表示します。 |
| 参照項目設定 | 参照項目と分析項目を組み合わせて、同一セル内に複数の項目名を表示します。 |
| 印刷/出力 | 集計表を印刷、または、他のアプリケーションのファイルとして出力します。 |

### ◆ データセレクター

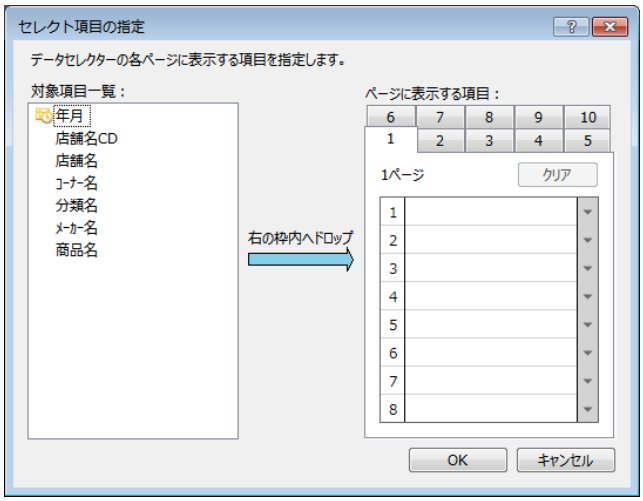
集計対象のデータを絞り込むための簡易ボタン画面や条件式を設定します。注目したいデータだけを絞り込み、再集計できます。

1 ナビゲーションパネルにある[データセレクター]アイコンをクリックします。

▼データセレクター表示領域が表示されます。（再度、[データセレクター]アイコンや[<<]ボタンをクリックするとデータセレクターを閉じることができます）

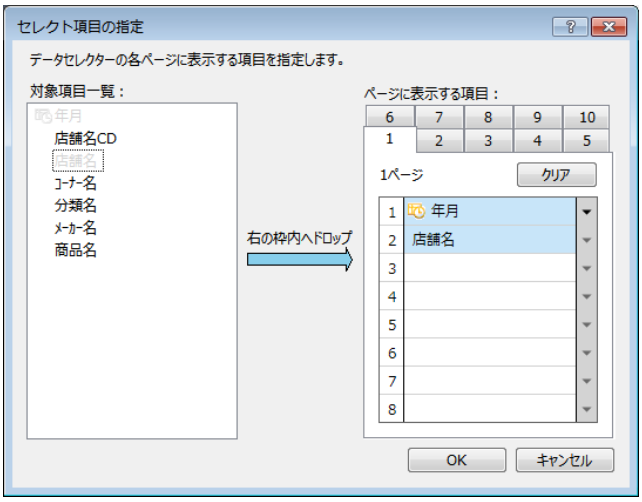
2 データを絞り込むための対象とする項目列を設定するには、表示領域の上部にある[セレクト項目の指定]アイコンをクリックします。

▼[セレクト項目の指定]ダイアログボックスが表示されます。

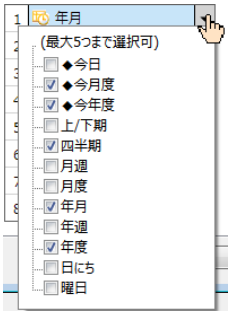



3 [対象項目一覧：]から、データの絞り込みに利用したい項目列を、[ページに表示する項目：]の枠内にドラッグ&ドロップで移動します。

▼指定した項目が[ページに表示する項目：]に移動します。




がついている日付/時間項目は、右端の[▼]ドロップダウンリストから、期間項目（今月度、上下期、曜日など）や時間の項目（AM/PM、時など）を追加できます。




[ページに表示する項目：]には1～10までのページタブがあり、タブを切り替えて設定が行えます。1ページに8項目、最大80項目（10ページ×8項目）まで設定できます。

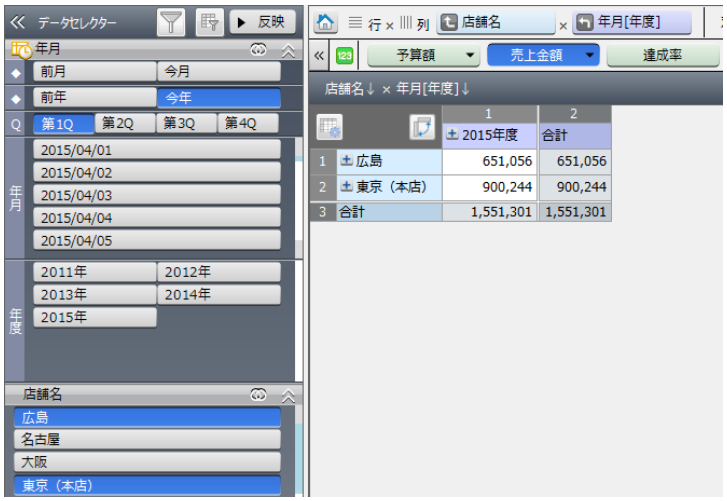
4 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼データセレクター表示領域にセレクト項目が表示されます。

5 絞り込みたいデータ(ボタン)を選択します。[Ctrl]キーや[Shift]キーを押しながら選択すると、複数のボタンを同時に選択できます。 ※日付/時間型項目のデータは、[Shift]キーを利用した複数選択はできません。

6 [反映]ボタンをクリックします。

▼絞り込んだデータを対象に、再度集計処理が実行されます。



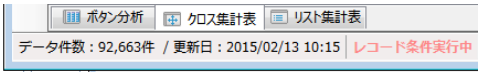

：標準モード⇔ ：排他モード

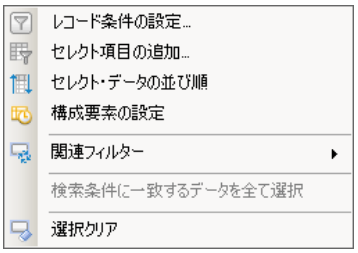
“排他”モードにすると、選択したデータ(ボタン)を除外して再集計します。

データセレクター領域上部にある[レコード条件の設定]アイコン をクリックすると、[レコード条件の設定]ダイアログボックスが表示され、集計表の対象レコードを条件式で絞り込むことができます。

▼[レコード条件の設定]ダイアログボックス

「□条件にヒットするレコードを抽出」をチェックオンすると、条件式が入力できるようになります。
条件式は、数値項目/日付項目/テンキー(各種演算子や定数等)を用いて設定します。
条件式設定後、[OK]ボタンをクリックすると、集計結果が条件に従って絞り込まれます。なお、レコード条件が実行されているときは、画面の左下に「レコード条件実行中」と赤字で表示されます。条件内容は、対象データ領域に表示されます。




データセレクター表示領域内で右クリックするとコンテキストメニューが表示されます。

| | |
|---|---|
| ■レコード条件の設定 | [レコード条件の設定]ダイアログボックスを表示します。 |
| ■セレクト項目の追加 | [セレクト項目の指定]ダイアログボックスを表示します。 |
| ■セレクト・データの並び順 | セレクト項目ごとに表示の並び順を設定できます。 |
| ■構成要素の設定 | 日付/時間型項目から追加セレクト項目を設定できます。手順③右欄と同様の設定です。 |
| ■関連フィルター | ボタン選択したときの関連フィルターの動作([関連なし]または[絞り込み])を設定します。 |
| ■検索条件に一致するデータを全て選択 | セレクト項目内の検索をしている場合に、検索結果に該当するデータボタンを、メニューを実行した項目内で一括選択します。(日付や時間の項目は除きます。) |
| ■選択クリア | 選択中のボタンを全て解除します。 |

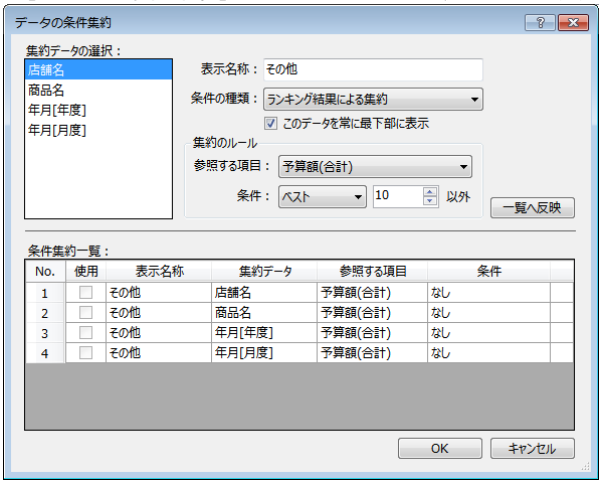
ボタン分析画面でデータボタンを選択してクロス集計表を作成した場合は、選択したデータボタンの項目をそのままデータセレクター表示領域に再現して表示します。なお、関連モード(関連なし/絞り込み)と選択モード(標準/排他)もボタン分析画面から継承されます。

## ◆ 条件集約

任意の条件に一致するデータを集約します。例えば、集計された数値データ項目のランキング結果に対してベスト10以外の項目をまとめて表示することができます。

1 [条件集約]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[データの条件集約])

▼[データの条件集約]ダイアログボックスが表示されます。



2 [集計データの選択:]欄から、条件集約させたい分析項目列を選択します。

3 続いて、集約条件の種類やルールを指定します。

■表示名称:
条件集約されたデータ項目の名称を入力します。

■条件の種類:
条件の種類(ランキング結果による集約/数値条件による集約)をプルダウンリストから選択します。
また「□このデータを常に最下部に表示」をチェックオンすると、条件集約されたデータは最下部に表示されます。

■集約のルール
集約のルール(数値データ項目/集計方法/集約条件)を指定します。

4 設定後、[一覧へ反映]ボタンをクリックします。

▼[条件集約一覧:]欄に設定内容が表示されます。

条件集約一覧:

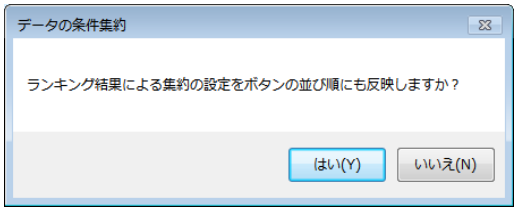
| No. | 使用 | 表示名称 | 集約データ | 参照する項目 | 条件 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | □ | その他 | 店舗名 | 予算額(合計) | なし |
| 2 | ☑ | その他 | 商品名 | 売上金額(合計) | ベスト 10以外 |

5 表示を確認したら、[OK]ボタンをクリックします。

▼設定した条件に該当するデータがまとめられます。

| | | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 合計 |
| 1 | 広島 | 1,897,182 | 2,327,148 | 2,398,616 | 9,316,392 |
| 2 | AP-N250/4G | 70,308 | 86,751 | 115,952 | 394,916 |
| 3 | AP-MMX166/S15T | 59,103 | 87,759 | 84,177 | 353,723 |
| 4 | AP-MMX150/15M | 76,884 | 61,016 | 56,769 | 308,207 |
| 5 | CS-K40K2 | 32,928 | 32,144 | 47,824 | 206,192 |
| 6 | CS-G50K2 | 34,216 | 39,480 | 45,731 | 178,318 |
| 7 | その他 | 1,623,743 | 2,019,998 | 2,048,163 | 7,875,038 |
| 8 | 名古屋 | 2,105,302 | 2,557,477 | 2,683,551 | 10,323,488 |
| 9 | AP-N250/4G | 49,329 | 55,283 | 67,757 | 247,212 |
| 10 | CTP 233YB7 | 39,104 | 41,193 | 41,193 | 220,890 |
| 11 | AP-MMX166/S15T | 38,805 | 43,880 | 47,760 | 198,204 |
| 12 | CS-G50K2 | 34,874 | 50,666 | 42,770 | 191,149 |
| 13 | CS-K40K2 | 38,612 | 38,808 | 58,016 | 188,944 |
| 14 | その他 | 1,904,578 | 2,327,648 | 2,426,056 | 9,277,089 |

「ランキング結果による集約」を行う場合、メッセージが表示されます。[はい]をクリックすると、自動的にランキング結果(数値データ順)に合わせてデータを並び替えて表示します。

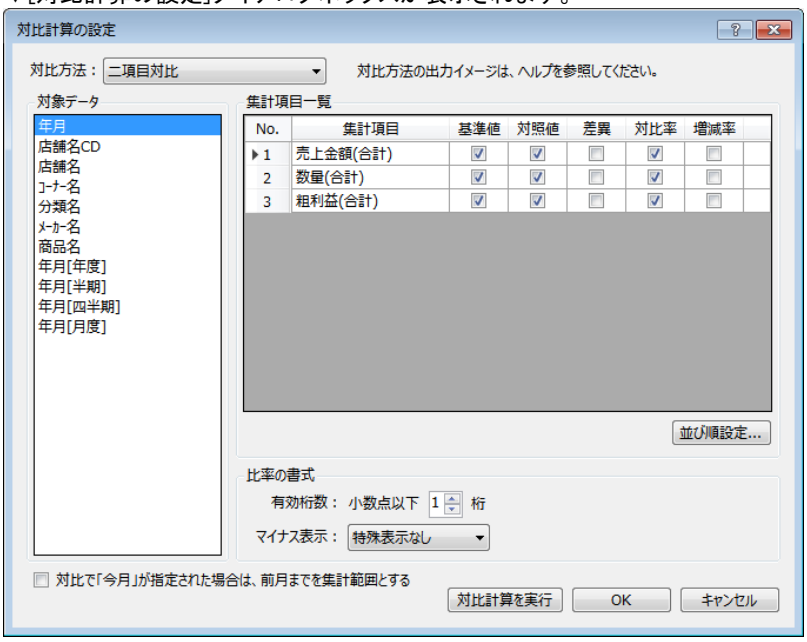



## ◆ 対比計算

表示中の集計表を基に、指定した対比方法で差異や比率等を計算して表示します。対比計算の設定は、設定ダイアログボックスと対比計算専用のデータセレクターを組み合わせて行います。

1 [対比計算]アイコンをクリックします。
(メニューバー[ツール]-[対比計算]-[設定])

▼[対比計算の設定]ダイアログボックスが表示されます。



2 [対比方法:]の[▼]ドロップダウンリストから、対比方法を選択します。

| 対比方法 | 対比対象 | データセレクターで指定するボタン | 対比されるデータ |
|---|---|---|---|
| 二項目対比 | 同一項目内の任意の2データ | 任意の2データ | 指定データのレコード、自動日付列、自動時間列 |
| 対前年(*別) | 前年度と今年度 | 今年度の年 | 年度のレコード |
| 対前月(*別) | 前月度と今月度 | 今年度の月 | 月度のレコード |
| 前年同月比(単月) | 前年度と今年度 | 今年度の年と月度 | 月度のレコード |
| 前年同日比(当月) | | 今年度の年と月日 | 指定した月日のレコード |
| 前年同月比(累計) | | 今年度の年と月度 | 年度開始月から指定月までのレコード |
| 前年同日比(累計) | | 今年度の年と月日 | 年度開始日から指定日までのレコード |

3 [対象データ]欄から、対比計算の対象にする項目をひとつ選択します。

4 [集計項目一覧]の集計項目毎に、基準値・対照値・差異・対比率・増減率を表示するかどうか、指定します。表示する場合は、チェックオンします。

集計項目一覧

| No. | 集計項目 | 基準値 | 対照値 | 差異 | 対比率 | 増減率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 売上金額(合計) | ☑ | ☑ | ☐ | ☑ | ☐ |
| 2 | 数量(合計) | ☑ | ☑ | ☐ | ☑ | ☐ |
| 3 | 粗利益(合計) | ☑ | ☑ | ☐ | ☑ | ☐ |

■差異　：対照値−基準値
■対比率：対照値÷基準値
■増減率：差異÷基準値

[並び順設定]ボタンをクリックし、[並び順設定]ダイアログボックスで、集計項目の並び順を変更できます。

5 必要に応じて、対比率・増減率に適用される[比率の書式]を設定します。

比率の書式
有効桁数：小数点以下 1 桁
マイナス表示：特殊表示なし

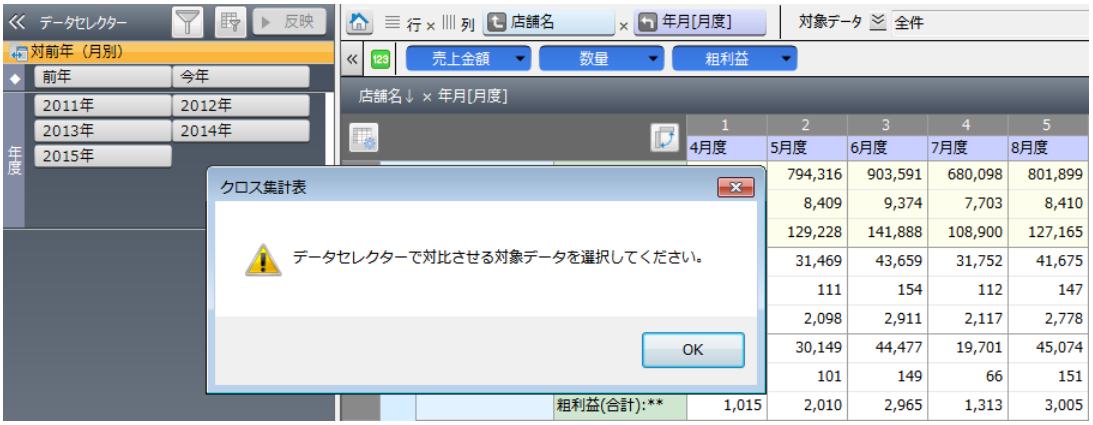
■有効桁数:小数点以下1桁～5桁を選択します。集計表に“%”が表示されます。
■マイナス表示:計算結果がマイナスの場合の書式を選択します。

基準値・対照値・差異の書式は、集計項目表示領域で右クリックして表示されるコンテキストメニューの[書式設定]-[数値の表示書式]、またはデザイン設定領域で変更できます。

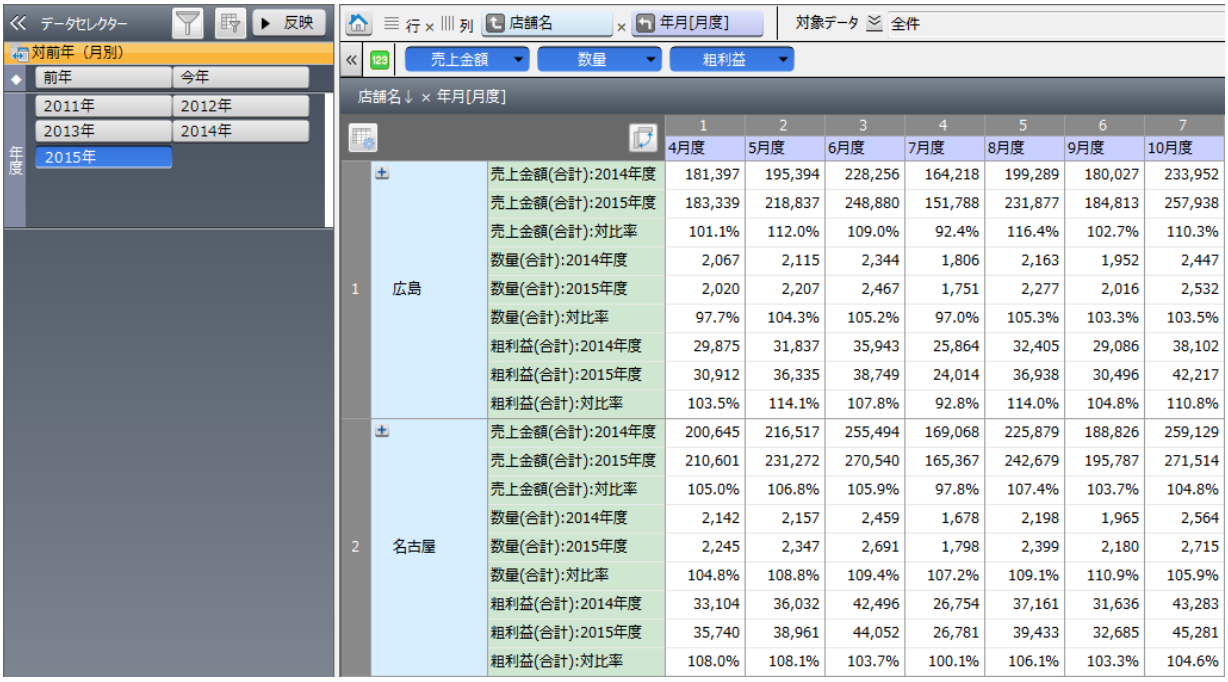
6 対比対象に月日を含む場合で「今月」が指定された場合に、今月を集計範囲に含めるかどうか、指定できます。今月を含まない場合は、「□対比で「今月」が指定された場合は、前月までを集計範囲とする」をチェックオンします。

7 [対比計算を実行]ボタンをクリックします。

▼「データセレクターで対比させる対象データを選択してください。」のメッセージが表示されます。そのまま[OK]ボタンをクリックします。



8 データセレクターから、対象データを指定して、[反映]ボタンをクリックします。
◆二項目対比の場合：対象データの選択順で基準値→対照値の指定となります。
◆二項目対比以外の場合：対照値となる対象データのみ指定します。
▼対比計算の集計表が実行されます。




| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 4月度 | 5月度 | 6月度 | 7月度 | 8月度 | 9月度 | 10月度 |
| 1 | 広島 | 売上金額(合計):2014年度 | 181,397 | 195,394 | 228,256 | 164,218 | 199,289 | 180,027 | 233,952 |
| | | 売上金額(合計):2015年度 | 183,339 | 218,837 | 248,880 | 151,788 | 231,877 | 184,813 | 257,938 |
| | | 売上金額(合計):対比率 | 101.1% | 112.0% | 109.0% | 92.4% | 116.4% | 102.7% | 110.3% |
| | | 数量(合計):2014年度 | 2,067 | 2,115 | 2,344 | 1,806 | 2,163 | 1,952 | 2,447 |
| | | 数量(合計):2015年度 | 2,020 | 2,207 | 2,467 | 1,751 | 2,277 | 2,016 | 2,532 |
| | | 数量(合計):対比率 | 97.7% | 104.3% | 105.2% | 97.0% | 105.3% | 103.3% | 103.5% |
| | | 粗利益(合計):2014年度 | 29,875 | 31,837 | 35,943 | 25,864 | 32,405 | 29,086 | 38,102 |
| | | 粗利益(合計):2015年度 | 30,912 | 36,335 | 38,749 | 24,014 | 36,938 | 30,496 | 42,217 |
| | | 粗利益(合計):対比率 | 103.5% | 114.1% | 107.8% | 92.8% | 114.0% | 104.8% | 110.8% |
| 2 | 名古屋 | 売上金額(合計):2014年度 | 200,645 | 216,517 | 255,494 | 169,068 | 225,879 | 188,826 | 259,129 |
| | | 売上金額(合計):2015年度 | 210,601 | 231,272 | 270,540 | 165,367 | 242,679 | 195,787 | 271,514 |
| | | 売上金額(合計):対比率 | 105.0% | 106.8% | 105.9% | 97.8% | 107.4% | 103.7% | 104.8% |
| | | 数量(合計):2014年度 | 2,142 | 2,157 | 2,459 | 1,678 | 2,198 | 1,965 | 2,564 |
| | | 数量(合計):2015年度 | 2,245 | 2,347 | 2,691 | 1,798 | 2,399 | 2,180 | 2,715 |
| | | 数量(合計):対比率 | 104.8% | 108.8% | 109.4% | 107.2% | 109.1% | 110.9% | 105.9% |
| | | 粗利益(合計):2014年度 | 33,104 | 36,032 | 42,496 | 26,754 | 37,161 | 31,636 | 43,283 |
| | | 粗利益(合計):2015年度 | 35,740 | 38,961 | 44,052 | 26,781 | 39,433 | 32,685 | 45,281 |
| | | 粗利益(合計):対比率 | 108.0% | 108.1% | 103.7% | 100.1% | 106.1% | 103.3% | 104.6% |

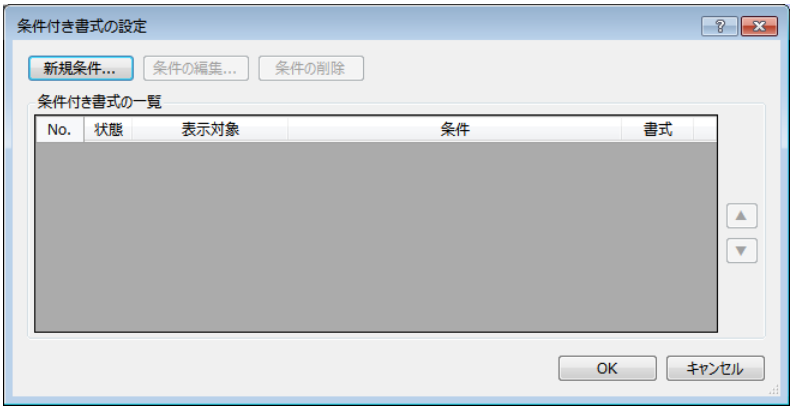
表示されるデータセレクター（ページ 0）は、対比計算専用のデータセレクターです。対比方法に応じて表示内容が異なります。通常のデータセレクター（ページ 1～10）を併用することができます。

対比計算された集計表を解除する場合は、対比計算アイコンをクリックします。（メニューバー[ツール]-[対比計算]-[解除]）

## ◆ 条件付き書式

設定した条件に該当するセルを、指定した書式で強調表示します。

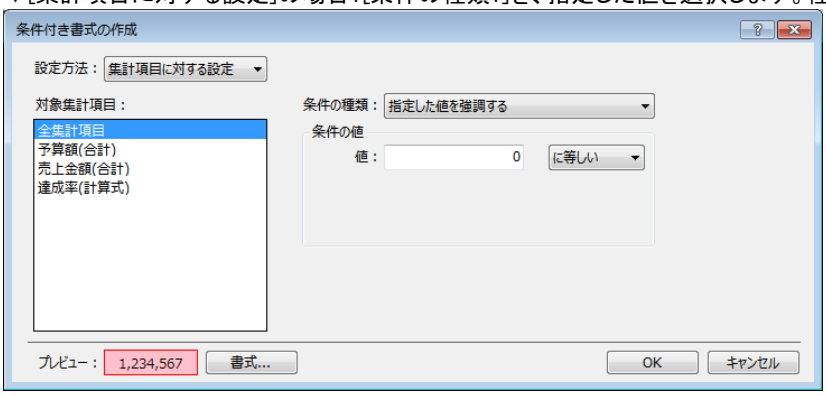
1 [条件付き書式]アイコンをクリックします。
（メニューバー[書式]-[条件付き書式の設定]）
▼[条件付き書式の設定]ダイアログボックスが表示されます。



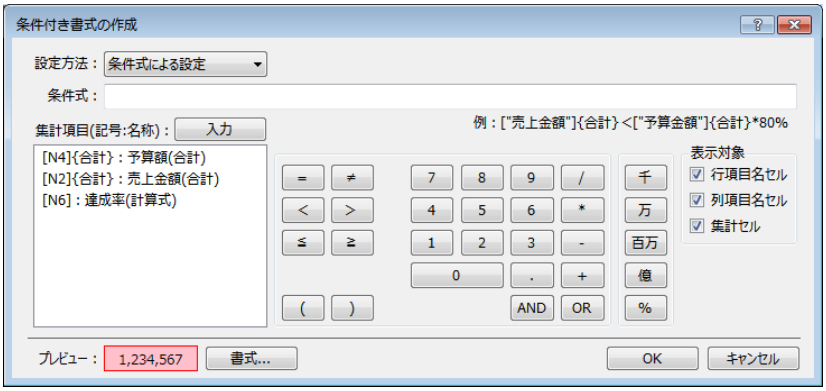
2 [新規条件]ボタンをクリックします。

3 [設定方法:]から、[集計項目に対する設定]か[条件式による設定]を選択します。

▼[集計項目に対する設定]の場合:[条件の種類:]を、指定した値を選択します。種類に応じて[条件の値]を設定します。

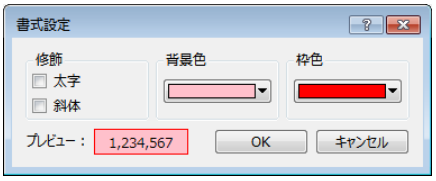



▼[条件式による設定]の場合:集計項目に対して、四則演演算子/優先演算子(括弧)/テンキーを利用して任意に条件式を設定します。



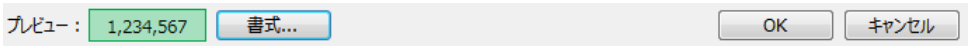

4 [書式]ボタンをクリックします。

▼[書式設定]ダイアログボックスが表示されます。



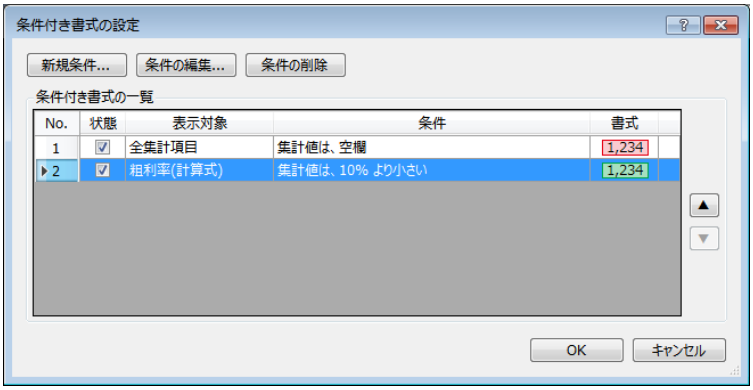

5 文字列の修飾・背景色・枠色を設定して、[OK]ボタンをクリックします。

▼[プレビュー:]に設定した書式が表示されます。




6 プレビュー確認後、[OK]ボタンをクリックします。

▼[条件付き書式の設定]ダイアログボックスに戻り、[条件付書式の一覧]に設定した条件が表示されます。(最大 64 個まで設定できます)



7 [状態]欄のチェックボックスを確認します。チェックオンされている条件を集計表に反映します。確認後、[OK]ボタンをクリックします。

▼書式が反映された集計表が表示されます。

| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ± 2011年度 | ± 2012年度 | ± 2013年度 | ± 2014年度 | ± 2015年度 | 合計 |
| 1 | ± 広島 | 予算額(合計) | 1,454,600 | 1,347,510 | 1,894,000 | 2,269,000 | 2,346,200 | 9,311,310 |
| | | 売上金額(合計) | 1,336,806 | 1,356,641 | 1,897,182 | 2,327,148 | 2,398,616 | 9,316,392 |
| | | 達成率(計算式) | 91.9% | 100.7% | 100.2% | 102.6% | 102.2% | 100.1% |
| 2 | ± 名古屋 | 予算額(合計) | 1,460,000 | 1,542,366 | 2,077,054 | 2,481,000 | 2,603,344 | 10,163,764 |
| | | 売上金額(合計) | 1,439,949 | 1,537,210 | 2,105,302 | 2,557,477 | 2,683,551 | 10,323,488 |
| | | 達成率(計算式) | 98.6% | 99.7% | 101.4% | 103.1% | 103.1% | 101.6% |
| 3 | ± 大阪 | 予算額(合計) | 1,484,000 | 1,637,000 | 2,134,000 | 2,471,000 | 2,734,000 | 10,460,000 |
| | | 売上金額(合計) | 1,464,646 | 1,686,630 | 2,142,730 | 2,500,536 | 2,753,524 | 10,548,066 |
| | | 達成率(計算式) | 98.7% | 103.0% | 100.4% | 101.2% | 100.7% | 100.8% |

[集計項目に対する設定]の場合、指定した集計項目の集計値セルのみを強調表示します。[条件式による設定]の場合は、強調表示の対象は行/列を単位とし、単一の集計項目のみを使った条件式でも、指定された集計項目の集計値セルのみを強調することはしません。

同一セルに複数の条件が合致した場合、[条件付き書式の一覧]の上から順に優先して適用されます。一覧表の並び順は右横の[▲][▼]ボタンで変更できます。

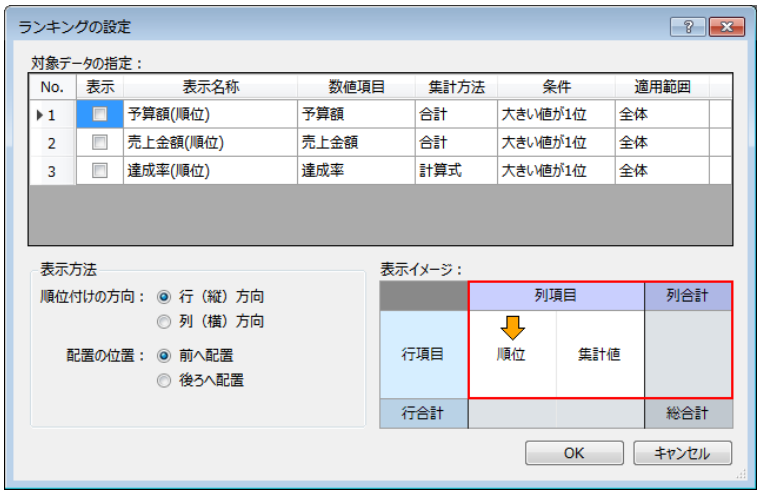
[条件付き書式の設定]ダイアログボックスで、[条件付き書式の一覧]から選択している条件に対して[条件の編集]や[条件の削除]が行えます。

## ◆ ランキング（順位）

集計表の集計結果（集計値）を昇順または降順で並べた場合のランキング（順位）を、新たな数値項目列として表示します。

1 [ランキング]アイコンをクリックします。
（メニューバー[ツール]-[ランキング]-[設定]）

▼[ランキングの設定]ダイアログボックスが表示されます。



2 順位を表示させたい集計値のチェックボックスをチェックオンします。

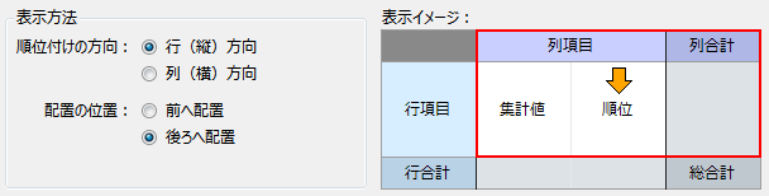
3 チェックオンした集計値の[条件]欄の[▼]ドロップダウンリストから順位付けのルールを、[適用範囲]欄の[▼]ドロップダウンリストから順位を表示する対象セルを指定します。

対象データの指定：

| No. | 表示 | 表示名称 | 数値項目 | 集計方法 | 条件 | 適用範囲 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ☐ | 予算額(順位) | 予算額 | 合計 | 大きい値が1位 | 全体 |
| ▶2 | ☑ | 売上金額(順位) | 売上金額 | 合計 | 大きい値が1位 | 全体 |
| 3 | ☐ | 達成率(順位) | 達成率 | 計算式 | 大きい値が1位 | 全体 |

条件は、大きい値が 1 位/小さい値が 1 位、適用範囲は、全体/集計欄/合計欄から指定できます。

4 表示方法を指定します。ラジオボタンのチェックオンに連動して[表示イメージ]が変わります。




5 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼新たにできた<***(順位)>という集計項目に順位が表示されます。

| | | | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 2014年度 | 2015年度 | 合計 |
| 1 | 広島 | 予算額(合計) | 2,269,000 | 2,346,200 | 9,311,310 |
| | | 売上金額(合計) | 2,327,148 | 2,398,616 | 9,316,392 |
| | | 売上金額(順位) | 6 | 6 | 6 |
| | | 達成率(計算式) | 102.6% | 102.2% | 100.1% |
| 2 | 東京（本店） | 予算額(合計) | 3,089,107 | 3,233,187 | 13,773,250 |
| | | 売上金額(合計) | 3,252,971 | 3,484,175 | 14,450,724 |
| | | 売上金額(順位) | 1 | 1 | 1 |
| | | 達成率(計算式) | 105.3% | 107.8% | 104.9% |
| 3 | 名古屋 | 予算額(合計) | 2,481,000 | 2,603,344 | 10,163,764 |
| | | 売上金額(合計) | 2,557,477 | 2,683,551 | 10,323,488 |
| | | 売上金額(順位) | 4 | 3 | 4 |
| | | 達成率(計算式) | 103.1% | 103.1% | 101.6% |

配置切替アイコンをクリックすると順位の表示位置が変わります。

| | | | 1 | | 2 | | 3 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 2011年度 | | 2012年度 | | 2013年度 | |
| | | | 合計 | 合計順位 | 合計 | 合計順位 | 合計 | 合計順位 |
| 1 | 広島 | 予算額 | 1,454,600 | | 1,347,510 | | 1,894,000 | |
| | | 売上金額 | 1,336,806 | 5 | 1,356,641 | 6 | 1,897,182 | 6 |
| | | 達成率 | 91.9% | | 100.7% | | 100.2% | |
| 2 | 東京（本店） | 予算額 | 2,150,000 | | 2,442,956 | | 2,858,000 | |
| | | 売上金額 | 2,253,775 | 1 | 2,525,735 | 1 | 2,934,068 | 1 |
| | | 達成率 | 104.8% | | 103.4% | | 102.7% | |

| | | 1 | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 2011年度 | | | |
| | | 予算額(合計) | 売上金額(合計) | 売上金額(順位) | 達成率(計算式) |
| 1 | 広島 | 1,454,600 | 1,336,806 | 5 | 91.9% |
| 2 | 東京（本店） | 2,150,000 | 2,253,775 | 1 | 104.8% |

| | | | 1 | | | 2 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 2011年度 | | | 2012年度 | | |
| | | | 予算額 | 売上金額 | 達成率 | 予算額 | 売上金額 | 達成率 |
| 1 | 広島 | 合計 | 1,454,600 | 1,336,806 | 91.9% | 1,347,510 | 1,356,641 | 100.7% |
| | | 合計順位 | | 5 | | | 6 | |
| 2 | 東京（本店） | 合計 | 2,150,000 | 2,253,775 | 104.... | 2,442,956 | 2,525,735 | 103.4% |
| | | 合計順位 | | 1 | | | 1 | |

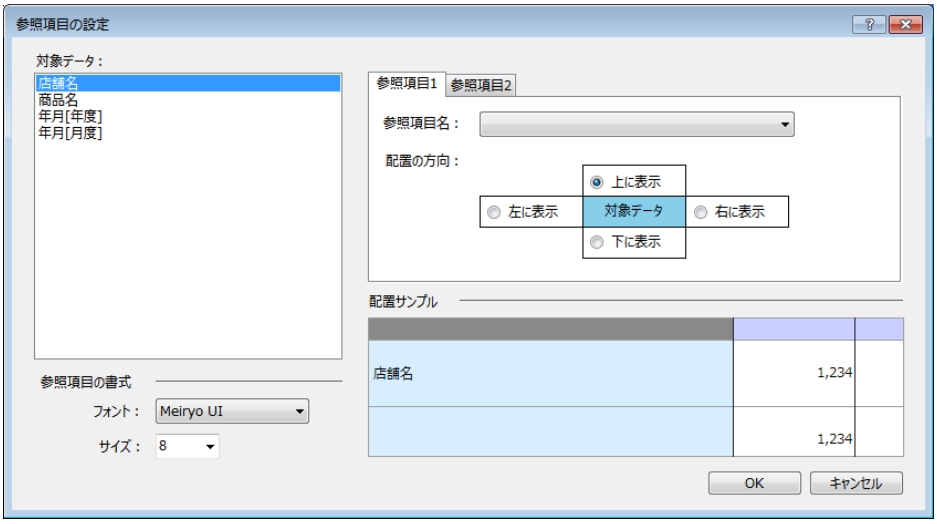
ランキングの表示を解除する場合は、[ランキング]アイコンの[▼]ドロップダウンリストから[解除]をクリックします。（メニューバー[ツール]-[ランキング]-[解除]）

## ◆ 参照項目設定

データ定義画面で設定した参照項目や分析項目を組み合わせて、同一セル内に複数の項目名を表示します。

1. [参照項目の設定]アイコンをクリックします。
（メニューバー[ツール]-[参照項目の設定]）
※[参照項目の設定]アイコンがツールバーにないときには、「C00-00_4　◆ツールバーのカスタマイズ」を参照してください。

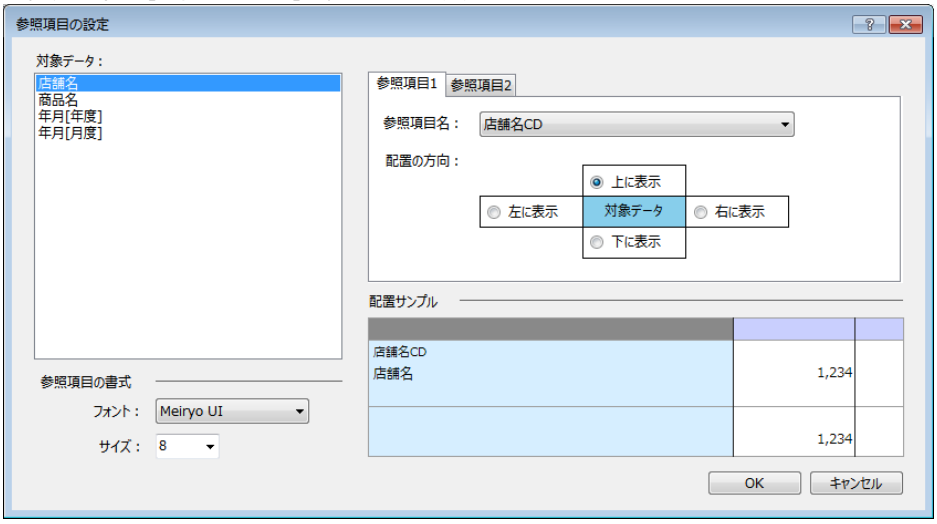
▼[参照項目の設定]ダイアログボックスが表示されます。




参照項目として設定できるのは、データ定義画面で[参照項目]または[分析項目]として設定された項目で、かつクロス集計表の構成要素になっていない項目です。

2. [対象データ：]欄で、参照項目を付与したい分析項目を選択します。
3. [参照項目名：]欄で、対象データと関連付けしたい項目を、[▼]のドロップダウンリストから選択します。
4. 対象データと参照項目の配置を指定します。

▼設定内容が[配置サンプル]に表示されます。




5. 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

▼参照項目と分析項目がセル内に表示されました。

| | | | 3 | 4 | 5 | 6 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 合計 |
| 1 | T005 広島 | 予算額(合計) | 1,894,000 | 2,269,000 | 2,346,200 | 9,311,310 |
| | | 売上金額(合計) | 1,897,182 | 2,327,148 | 2,398,616 | 9,316,392 |
| | | 達成率(計算式) | 100.2% | 102.6% | 102.2% | 100.1% |
| 2 | T000 東京（本店） | 予算額(合計) | 2,858,000 | 3,089,107 | 3,233,187 | 13,773,250 |
| | | 売上金額(合計) | 2,934,068 | 3,252,971 | 3,484,175 | 14,450,724 |
| | | 達成率(計算式) | 102.7% | 105.3% | 107.8% | 104.9% |

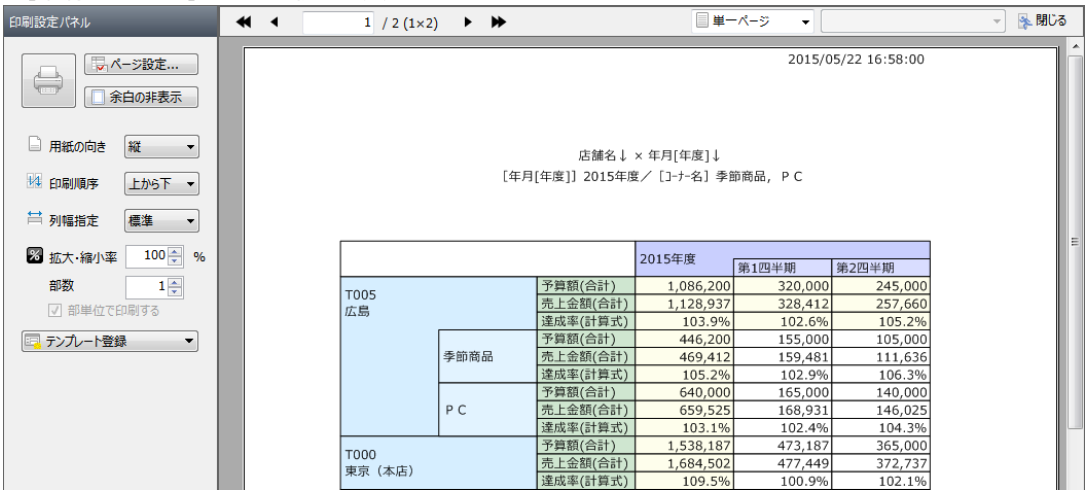
参照項目表示を解除する場合は、[参照項目の設定]ダイアログボックスで、[対象データ：]欄の[▼]ドロップダウンリストから空欄（未定義）を選択して[OK]ボタンをクリックします。

## ◆ 印刷/データ出力

作成したクロス集計表を印刷、または他のアプリケーションファイルに出力することができます。
ここでは印刷と Excel 出力の手順を紹介します。

1. [印刷]アイコンの[▼]ドロップダウンリストから[プレビュー]をクリックします。
（メニューバー[ファイル]-[印刷]-[プレビュー]）

▼[印刷プレビュー]画面へ遷移します。

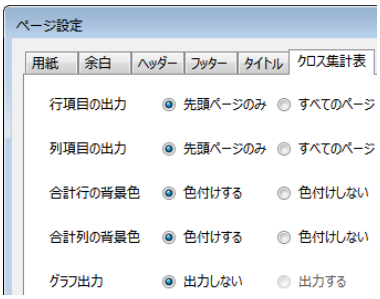



集計表画面で表示している集計表がそのまま印刷対象となります。また、印刷されるフォントや罫線等のデザインも集計表と同じになります。なお、グラフが全画面表示になっている場合は、グラフをプレビュー表示します。

2. 左端の[印刷設定パネル]に主な印刷の設定項目をまとめています。

| | |
|---|---|
| [印刷実行]ボタン | 印刷を実行します。 |
| [ページ設定]ボタン | 印刷設定の詳細を設定します。（下表参照） |
| [余白の表示/非表示]ボタン | 余白の表示/非表示を切り替えます。[余白表示]で表示される余白線を利用して列幅を任意に調整できます。 |
| 用紙の向き | 縦/横を指定します。 |
| 印刷順序 | 上から下/左から右を指定します。 |
| 列幅指定 | 標準/自動/任意を指定します。 |
| 拡大・縮小率 | 25%～400%で指定します。 |
| [テンプレート登録]ボタン | 印刷/PDF のテンプレートを登録します。 |

[印刷設定パネル]以外の詳細設定は、[ページ設定]ボタンをクリックして表示される[ページ設定]ダイアログボックスの各タブを切り替えながら設定します。




| | |
|---|---|
| 用紙 | 用紙の向き・印刷順序・拡大・縮小率印刷・センタリングの設定 |
| 余白 | 上下左右の余白・タイトル行の高さの設定 |
| ヘッダー | ヘッダーを出力するページの指定・配置やフォントの設定 |
| フッター | フッターを出力するページの指定・配置やフォントの設定 |
| タイトル | 主題、副題の指定・配置やフォントや表示方法の設定 |
| クロス集計表 | 行/列項目の出力、合計行の背景色、グラフの出力指定 |

3 [印刷実行]ボタンをクリックして、印刷を開始します。

4 印刷設定の内容をテンプレートに登録する場合は、[テンプレート登録]ボタンをクリックし、[印刷]もしくは[PDF]を指定して登録します。

5 [閉じる]アイコンをクリックして、印刷プレビュー画面を閉じます。

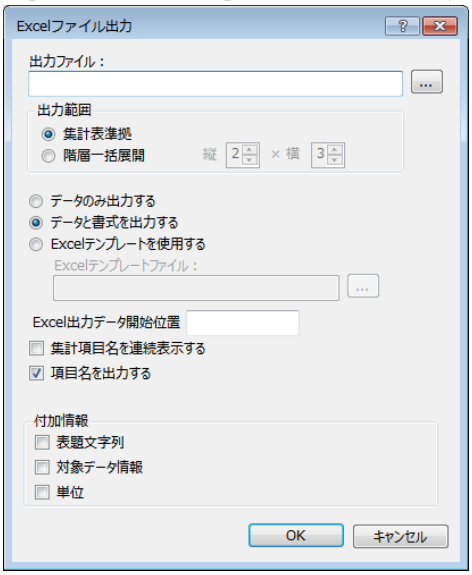
▼集計表画面に戻ります。

| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 2015年度 | | | | |
| | | | | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
| 1 | T005 広島 | 予算額(合計) | 1,086,200 | 320,000 | 245,000 | 310,000 | 211,200 |
| | | 売上金額(合計) | 1,128,937 | 328,412 | 257,660 | 324,410 | 218,455 |
| | | 達成率(計算式) | 103.9% | 102.6% | 105.2% | 104.6% | 103.4% |
| 2 | 季節商品 | 予算額(合計) | 446,200 | 155,000 | 105,000 | 105,000 | 81,200 |
| | | 売上金額(合計) | 469,412 | 159,481 | 111,636 | 115,784 | 82,512 |
| | | 達成率(計算式) | 105.2% | 102.9% | 106.3% | 110.3% | 101.6% |
| 3 | P C | 予算額(合計) | 640,000 | 165,000 | 140,000 | 205,000 | 130,000 |
| | | 売上金額(合計) | 659,525 | 168,931 | 146,025 | 208,626 | 135,943 |
| | | 達成率(計算式) | 103.1% | 102.4% | 104.3% | 101.8% | 104.6% |
| 4 | T000 東京（本店） | 予算額(合計) | 1,538,187 | 473,187 | 365,000 | 380,000 | 320,000 |
| | | 売上金額(合計) | 1,684,502 | 477,449 | 372,737 | 481,777 | 352,540 |
| | | 達成率(計算式) | 109.5% | 100.9% | 102.1% | 126.8% | 110.2% |

登録された印刷や PDF 出力のテンプレートを実行すると、[印刷プレビュー]画面ではなく、[印刷]ダイアログボックスや[PDF ファイル出力]ダイアログボックスが表示され、印刷実行や PDF ファイルの保存が行えます。

6 続いて、[Excel 出力]アイコンをクリックします。
（メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[Excel ファイル]）

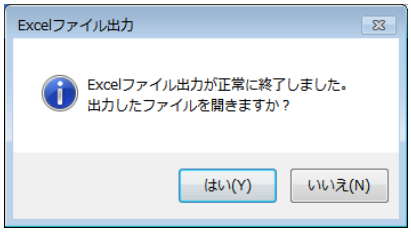
▼[Excel ファイル出力]ダイアログボックスが表示されます。




| | |
|---|---|
| 出力ファイル | 保存先フォルダーとファイル名を入力します。 |
| 出力範囲 | 集計表準拠/階層一括展開を指定 |
| 出力対象の指定 | [○Excel テンプレートを使用する]を指定した場合は、適用するExcelテンプレートファイルを指定します。（事前に作成が必要です） |
| Excel 出力データの開始位置 | 空欄の場合は「A1」セルが開始位置になります。 |
| 集計項目名を連続表示する | 連続表示する場合はチェックオンします。 |
| 項目名を出力する | 行/列の項目名を表の左上に表示します。 |
| 付加情報 | 表示させたい情報にチェックオンします。 |

7 設定後、[OK]ボタンをクリックします。

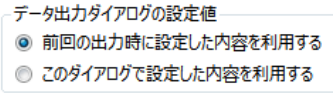
▼確認メッセージが表示されます。




8 [はい]ボタンをクリックします。

▼Excel ファイルが表示されます。

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | | | 年月[年度] | 2015年度 | | | | | 合計 |
| 2 | 店舗名 | ｺｰﾅｰ名 | 年月[四半期] | | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | |
| 3 | T005 広島 | | 予算額(合計) | 1,086,200 | 320,000 | 245,000 | 310,000 | 211,200 | 1,086,200 |
| 4 | | | 売上金額(合計) | 1,128,937 | 328,412 | 257,660 | 324,410 | 218,455 | 1,128,937 |
| 5 | | | 達成率(計算式) | 103.9% | 102.6% | 105.2% | 104.6% | 103.4% | 103.9% |
| 6 | | 季節商品 | 予算額(合計) | 446,200 | 155,000 | 105,000 | 105,000 | 81,200 | 446,200 |
| 7 | | | 売上金額(合計) | 469,412 | 159,481 | 111,636 | 115,784 | 82,512 | 469,412 |
| 8 | | | 達成率(計算式) | 105.2% | 102.9% | 106.3% | 110.3% | 101.6% | 105.2% |
| 9 | | P C | 予算額(合計) | 640,000 | 165,000 | 140,000 | 205,000 | 130,000 | 640,000 |
| 10 | | | 売上金額(合計) | 659,525 | 168,931 | 146,025 | 208,626 | 135,943 | 659,525 |
| 11 | | | 達成率(計算式) | 103.1% | 102.4% | 104.3% | 101.8% | 104.6% | 103.1% |
| 12 | T000 東京（本店） | | 予算額(合計) | 1,538,187 | 473,187 | 365,000 | 380,000 | 320,000 | 1,538,187 |

データ出力には[Excel ファイル出力]以外に、[クリップボード出力]、[テキストファイル出力]、[HTML ファイル出力]、[PDF ファイル出力]があります。
（メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[クリップボード]/[***ファイル]）

メニューバー[ファイル]-[データ出力]-[出力オプション]で表示される[データ出力オプション]ダイアログボックスでは、ファイルの種類毎に出力範囲や付加情報、外部アプリケーションとの連携用オプション等を設定することができます。
また、[データ出力ダイアログの設定値]でチェックオンしている状態が、各データ出力のダイアログボックスに反映されます。